



パーソナルコンピューター

PCV-V15シリーズ

取扱説明書



各部の説明

接続する／準備する

マウス／キーボード

テレビ／DVDビデオ
／音楽を楽しむ

インターネットを
始める

リカバリディスク作成
／リカバリ

その他

重要なお知らせ

パーソナルコンピューター

PCV-V15シリーズ

Microsoft® Windows® XP Home Edition搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

10ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① 電源を切る
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く
- ③ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

認証機器名は次のとおりです。

認証機器名:PCV-6610

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

本機の内蔵モデムについて

- 本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。
- 第一種電気通信事業者の交換設備からアナログ電話端末までの線路抵抗環境によっては、モデムが使用できないことがあります。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

アナログ放送から、デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。

著作権保護の信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、録画できません。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。
- 各種サービスは、都合によりソニーおよび提供者の判断にてご提供を中止・中断する場合があります。その場合、対象ソフトウェアまたは対象ソフトウェアの一部機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。



この説明書は、本文に100%古紙再生紙とVOX(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

🔍この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のもとは異なる場合があります。

こんなときはこのマニュアル

必ず本書からお読みください。

本機に付属しているマニュアルの内容を簡単にご紹介します。目的に合わせてお読みください。

*表紙や画面は実際のもので多少異なる場合があります。

紙のマニュアル

必ずお読みください

□ セットアップガイド



必ず本書からお読みください。本機を使う上で、最初に行う設置やセットアップ方法の他に楽しめかたなどを紹介しています。

□ 取扱説明書（本書）



下記の内容などを説明しています。
・バイオを使う準備
・マウスやキーボードについて
・テレビ/DVDビデオ / 音楽の楽しみかた
・インターネットを始める
・リカバリについて
・重要なお知らせ など

バイオをもっと活用したいときは

□ VAIOで楽しもう！



本機に付属しているソフトウェアの活用法を説明しています。

トラブルが起きてしまったら

□ 困ったときは



トラブルに出合ったときの解決方法や本機のサービス・サポートについて説明しています。

右の「バイオ こんなときはどうするの…」とあわせてご覧ください。

□ バイオ こんなときは どうするの…



ソニーへのお問い合わせの多い内容と対処方法を紹介しています。

□ ご注意・お知らせ

ご注意などのお知らせを記載した紙が入っている場合があります。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

バイオを使って楽しむための情報がいっぱいの電子マニュアルです。困ったときの対処方法も紙のマニュアル以上に充実しているので、キーワードで検索してスピーディに調べられます。



デスクトップ画面左下の「スタート」→ [すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]をクリックする。



バイオ電子マニュアルの画面

How to VAIO [何々バイオ]

バイオの基礎を学べます。

できる Windows for VAIO

Windowsの基本操作を説明しています。

ヘルプとサポートセンター

Windowsの操作方法やサポートの情報が見られます。起動するには「スタート」→ [ヘルプとサポート] をクリックします。

ソフトウェアのヘルプ

各ソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアに付属のヘルプをご覧ください。

目次



バイオ電子マニュアル (画面で見る電子マニュアル)

バイオの使いかたを知りたいときや、困ったことがあったときは、デスクトップ画面左下の **スタート** → [すべてのプログラム] → [バイオ電子マニュアル] をクリックして起動してください。

「本機をお使いになるときの重要なお知らせ」が120ページから記載されています。必ずご覧ください。

ここ以外にも本機で閲覧できる重要なお知らせがあります。下記の手順に従い、120ページからのお知らせとあわせてご覧ください。

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[重要なお知らせ] をクリックし、「重要なお知らせ」を表示します。

安全のために	4
こんなときはこのマニュアル	7
警告・注意	10

各部の説明

各部の説明	18
本機の各部の説明	18
リモコンの各部の説明	20

接続する / 準備する

付属品を確かめる	22
一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATVインターネット回線に接続する	24
電源を入れる	27
Windowsを準備する	28
「Norton AntiVirus」をインストールする	30
カスタマー登録する	32
電源を切る	39
省電力機能について	40

マウス / キーボード

マウス / キーボード	42
ご使用になる環境について	42
乾電池の残量とキーボードの状態表示について	42
乾電池を交換するときは	42
キーボードの便利な使いかた	43
使えないときは	44

テレビ / DVD ビデオ / 音楽を楽しむ

基本設定を行う	46
アンテナに接続する	46
Do VAIOの基本設定を行う	46
テレビを見る	52
テレビ番組を見る	52
録画する	54
録画予約する	56
録画したテレビ番組を見る	61
録画したテレビ番組のDVDビデオを作成する	63

DVDビデオを見る	68
音楽を聞く	70
音楽CDを再生する	70
本機に保存した音楽コンテンツを再生する	71

インターネットを始める

インターネットとは	74
インターネットに接続するための回線	74
ソフトウェア	75
インターネット上でのトラブルについて	76
インターネットに接続するまでの流れ	77
チェックシートを作成する	78
接続のための設定をする	78
セキュリティについて	79
コンピュータウイルスについて	79
「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて	79
「Windows Update」の「重要な更新と Service Pack」のご利用について	80
インターネット接続ファイアウォール機能について	81
インターネットのセキュリティについて	81

リカバリディスク作成 / リカバリ

リカバリディスクを作成する	84
リカバリとは	84
リカバリに使用するディスクについて	84
リカバリディスクを作成する	85
リカバリする	88
リカバリの種類 / 方法	88
リカバリの準備 (バックアップ / BIOS)	90
Windowsからリカバリする	92
Windowsが起動しない状態でリカバリする	98
本機をお買い上げ時の状態に戻す	99
パーティションサイズを変更する	100
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	101
バックアップしたデータを戻す	103

その他

使用上のご注意	106
お手入れ	110
保証書とアフターサービス	111
付属ソフトウェアのお問い合わせ先	112
主な仕様	118

必ずお読みください

重要なお知らせ

本機をお使いになるときの重要なお知らせ	120
索引	121

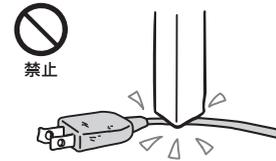


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

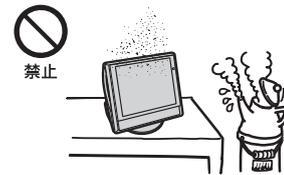
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
 - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。



むやみに内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。



落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。



本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。



内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。



品(ネットワーク/LAN)コネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

本機の品(ネットワーク/LAN)コネクタに下記のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など



通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。
通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。



下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。

キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺**の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。



注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。



指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



注意

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。



電源が入っている状態で動かさない

電源が入っている状態で、本機を移動したり、動かしたりすると、ハードディスクの故障の原因となります。



運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。



製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



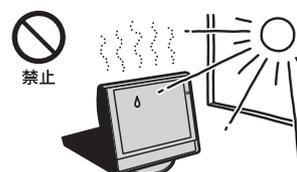
コネクタはきちんと接続する

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。



直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。



電池についての安全上のご注意

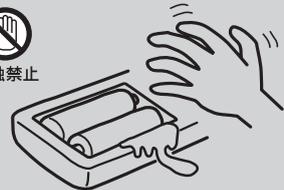
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



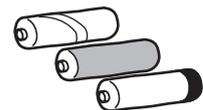
電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



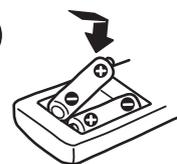
市販のアルカリまたはマンガン電池（単三型）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



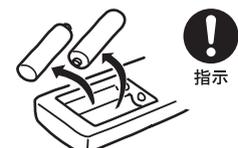
+と-の向きを正しく入れる

+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。





各部の説明

この章では、本機や付属のリモコンの各部のなまえについて説明します。

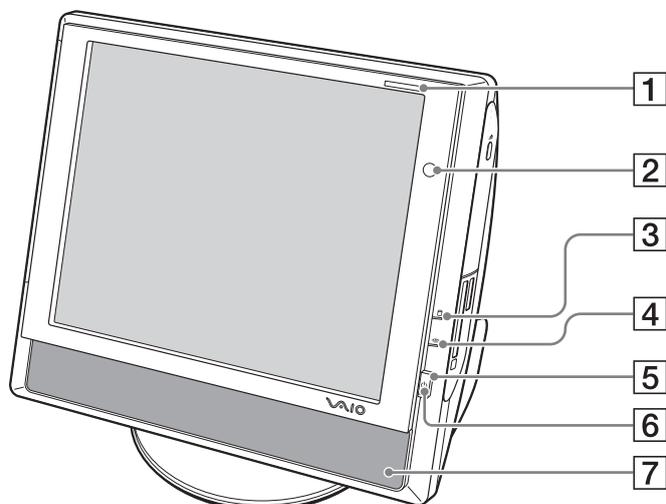
各部の説明.....	18
------------	----

各部の説明

ここでは、本機の各部のなまえを紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは()内のページおよび「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」をクリックし、画面左側の「各部の説明」をクリックして表示される情報をご覧ください。

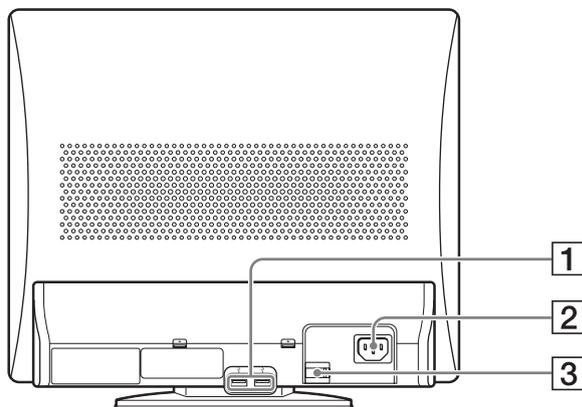
本機の各部の説明

前面



- 1 IDラベル
- 2 リモコン受光部
- 3 〇(ハードディスク/ディスクドライブ)アクセスランプ
- 4  MEMORY STICK(メモリースティック)アクセスランプ
- 5  電源)ボタン(27ページ)
- 6  電源)ランプ(27ページ)
- 7 スピーカー

後面

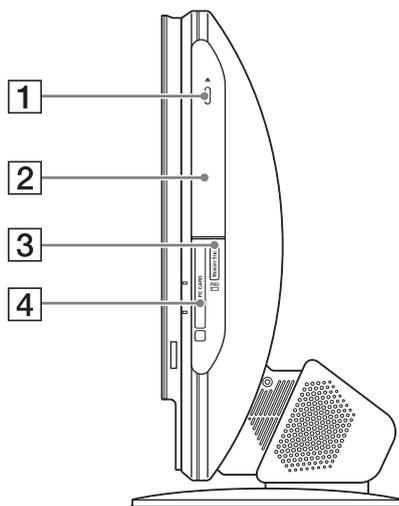


- 1  USB(Universal Serial Bus)コネクタ(USB 2.0規格(High-speed/ Full-speed/Low-speed対応))
- 2 AC電源入力プラグ
- 3 電源コード留め
電源コードを電源コード留めで固定することをおすすめします。詳しくは、デスクトップ画面左下の  スタート [すべてのプログラム] [重要なお知らせ]の順にクリックして表示される「本機をご使用になる際のご注意」の「電源コード留めについて」をご覧ください。

ご注意

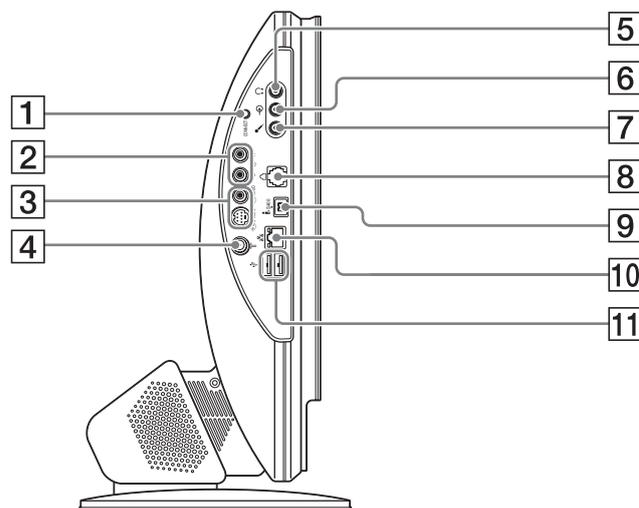
本機は回転させることができますが、電源が入っている状態で回転させると電源コードが抜けてしまうことがありますのでご注意ください。

右側面



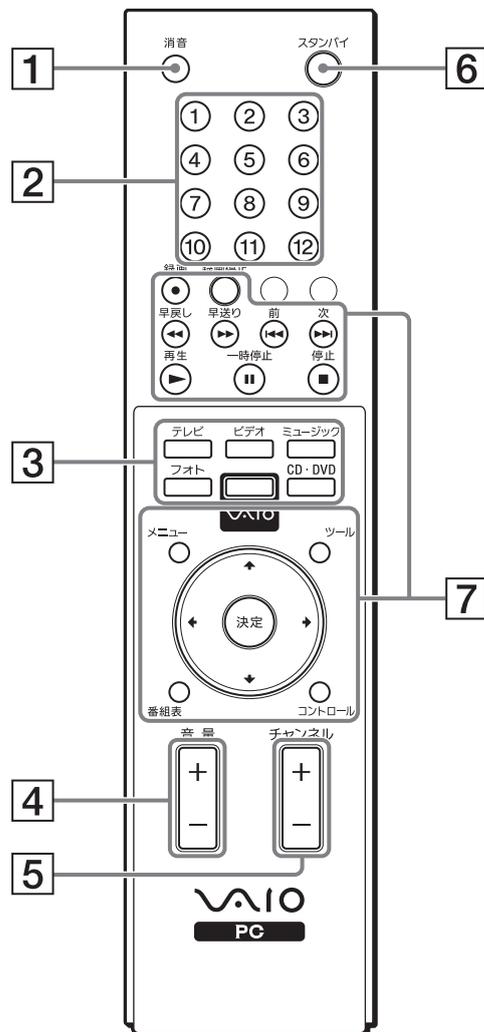
- | | |
|---|---|
| 1 ▲(ディスクドライブの)イジェクトボタン | 3  MEMORY STICK(メモリースティック)スロット |
| 2 ディスクドライブ(DVD±RWドライブ) ディスクドライブには、マニュアルイジェクト穴があります。 | 4 PC CARD(PCカード)スロット |

左側面



- | | |
|--|---|
| 1 CONNECT(コネクト)ボタン
詳しくは、「マウス/キーボード」(42ページ)をご覧ください。 | 7  (マイクロホン)コネクタ |
| 2 L⇄R(音声入力)コネクタ | 8  (電話回線)ジャック(24ページ) |
| 3  S VIDEO /  VIDEO(S映像入力 / 映像入力)コネクタ | 9  i.LINK S400コネクタ(4ピン) |
| 4  (VHF / UHF アンテナ)コネクタ | 10  (ネットワーク / LAN)コネクタ |
| 5  (ヘッドホン)コネクタ | 11  USBコネクタ(USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)対応) |
| 6  (ライン入力)コネクタ | |

リモコンの各部の説明



- | | |
|--------------|------------|
| 1 消音ボタン | 5 チャンネルボタン |
| 2 チャンネル数字ボタン | 6 スタンバイボタン |
| 3 ダイレクトボタン | 7 操作ボタン |
| 4 音量ボタン | |

🗨️ ちょっと一言

リモコンの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」画面上部の [バイオの使いかた](#) をクリックし、画面左側の [マウス / キーボード / リモコン] [リモコン] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- 5ボタン、チャンネル+ボタン、上下左右ボタンに突起が付いています。

接続する / 準備する

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。セットアップガイドとあわせてご覧ください。

付属品を確かめる	22
一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATVインターネット回線に接続する	24
電源を入れる	27
Windowsを準備する	28
カスタマー登録する	32
電源を切る	39

付属品を確かめる

本機をはじめて使うにあたって、以下のものがすべて揃っているかご確認ください。

□マークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO^{バイオ}カスタマーリンク修理窓口または販売店にご連絡ください。なお、付属品は本機のみで動作保障されています。

本書で使用するものについては、 本書 がついています。

👁️ PCV-V151S シリーズをご購入のお客様へ

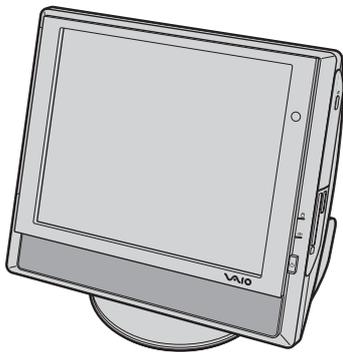
お客様が選択された商品によって仕様が異なります。

本機に同梱している、お客様が選択された仕様を記載したチラシもあわせてご覧ください。

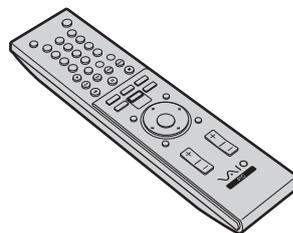
👁️ ちょっと一言

イラストは実際のものとは異なる場合があります。

□ コンピュータ本体 



□ リモコン 



□ ワイヤレスキーボード(以下「キーボード」と略します。) 

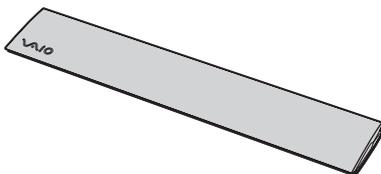


□ 単3形乾電池(6) 

マウス用のアルカリ乾電池(2) (マウス用のシールが貼られています)を含む。

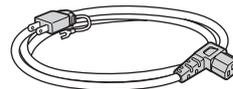


□ パームレスト 

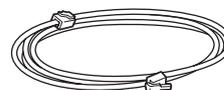


ケーブル

□ 電源コード 



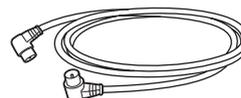
□ テレホンコード 



□ ワイヤレスマウス(以下「マウス」と略します。) 



□ アンテナ接続ケーブル 



説明書およびディスク

- 取扱説明書(本書)
- セットアップガイド
- 困ったときは
- バイオ こんなときは
どうするの・・・
- VAIOで楽しもう！
- 「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイド

ご注意

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイドは再発行できませんので、大切に保管してください。

- 「Microsoft® Office Personal Edition 2003*」プレインストールパッケージ(PCV-V151Bを含む「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデル)

お買い上げ時にプレインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算(115ページ)をご覧ください。

* この説明書では以降、Office Personalと略します。特に必要な場合は正式名称を記載します。

💡 ちょっと一言

- 本機では、「バイオ電子マニュアル」を使って画面上で本機の使いかたを調べたり、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ よくある質問とその回答)の情報を見たりすることができます。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他

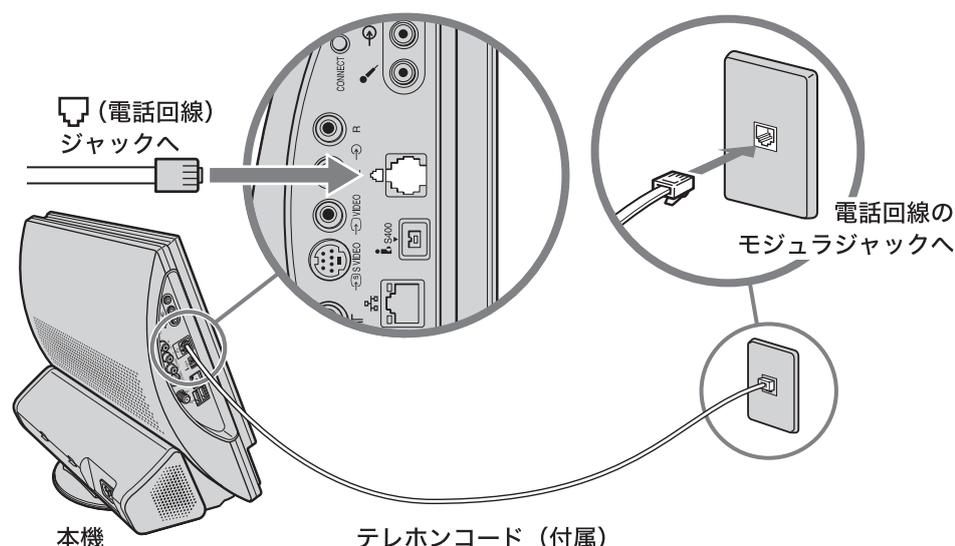
- VAIOカルテ
- ソフトウェア使用許諾契約書
- VAIOカスタマー登録、保証書
お申込書
- ご注意・お知らせ
本機に関する大切な情報が記載されている紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。
- その他パンフレット類
 - プロバイダ選びには、「できるインターネット プロバイダー選び & オンラインサービス編」をご活用ください。
 - 大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATVインターネット回線に接続する

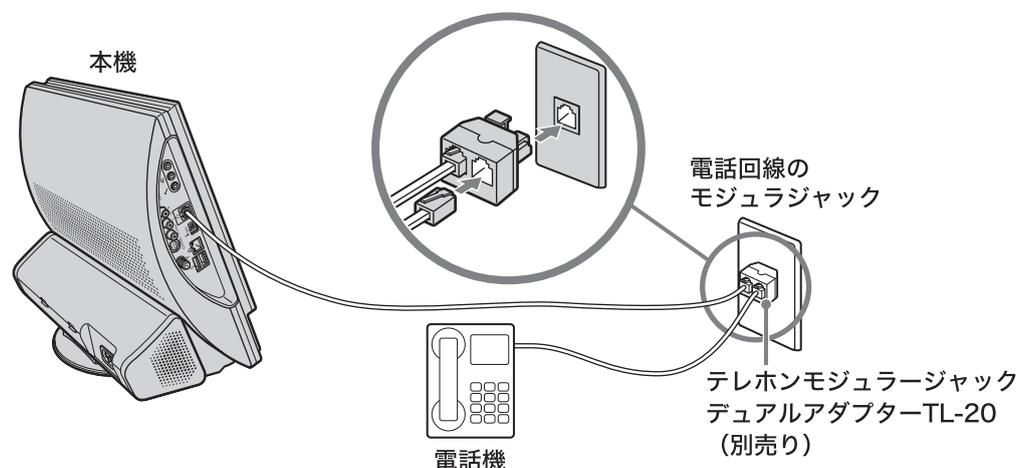
インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLに接続する方法などがあります。ここでは、一般の電話回線での接続方法と、ADSL、ISDNおよびCATVインターネット回線での機器の接続について説明します。

一般の電話回線につなぐときは

付属のテレホンコードの一方を本機の☐(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。



電話機をつなぐときは、アダプター(テレホンモジュラージャックデュアルアダプターTL-20(別売り)など)を使って接続します。



ご注意

テレホンコードは本機左側面の☐(ネットワーク/ LAN)コネクタに接続しないでください。

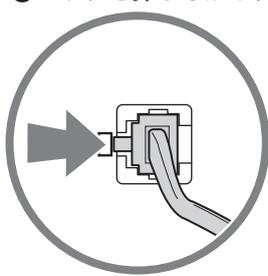
☺ ちょっと一言

ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

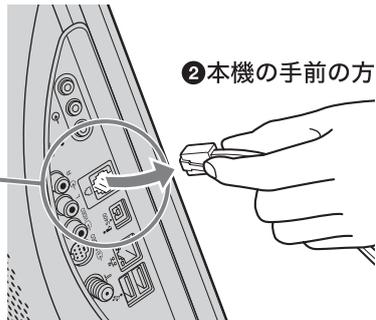
🔍 本機からテレホンコードを取りはずすには

☐(電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込み、モジュラアダプタのロックを押しながら、本機の手前の方に引き抜きます。

①ロックを押しながら、



②本機の手前の方へ引き抜く。



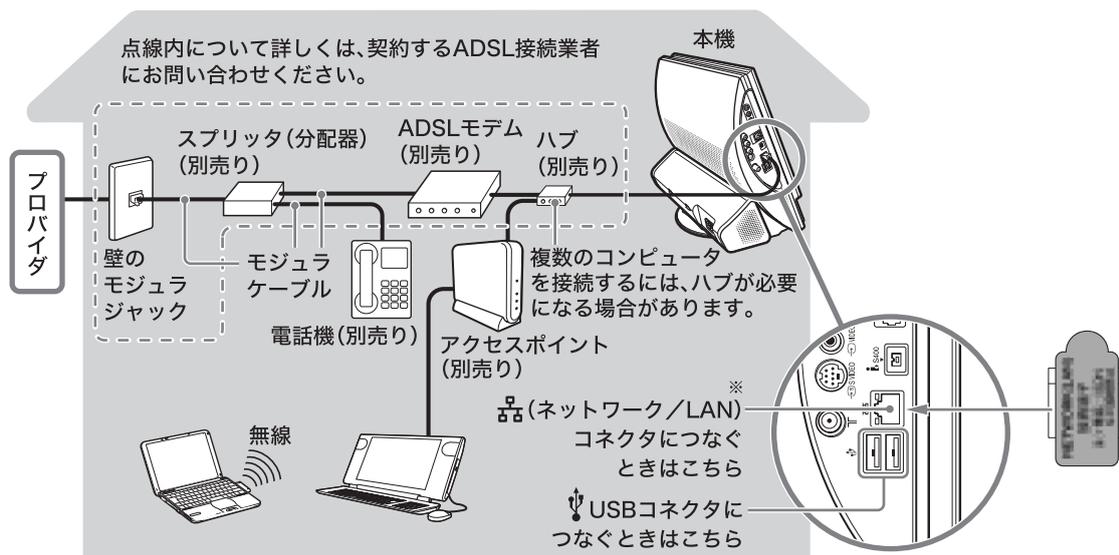
ADSL接続サービスを利用するときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことで、

このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者(プロバイダ)に申し込み、契約する必要があります。料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。

プロバイダとの契約について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」をクリックし、画面左側の「インターネット/電子メール」[プロバイダと契約する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

お客様の接続環境によって、接続方法が異なる場合がありますので、ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。



※お買い上げ時には、(ネットワーク/LAN) コネクタ上に誤って接続しないように上の図のようなシールが貼られています。(ネットワーク/LAN) コネクタを使うときは、このシールをはがしてから接続してください。

ご注意

- ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。
- (ネットワーク/LAN)コネクタにADSLモデムなどをつなぐときは、直接本体の(ネットワーク/LAN)コネクタに接続してください。ただし、複数のコンピュータを接続するときは、ハブを経由して接続する場合もあります。

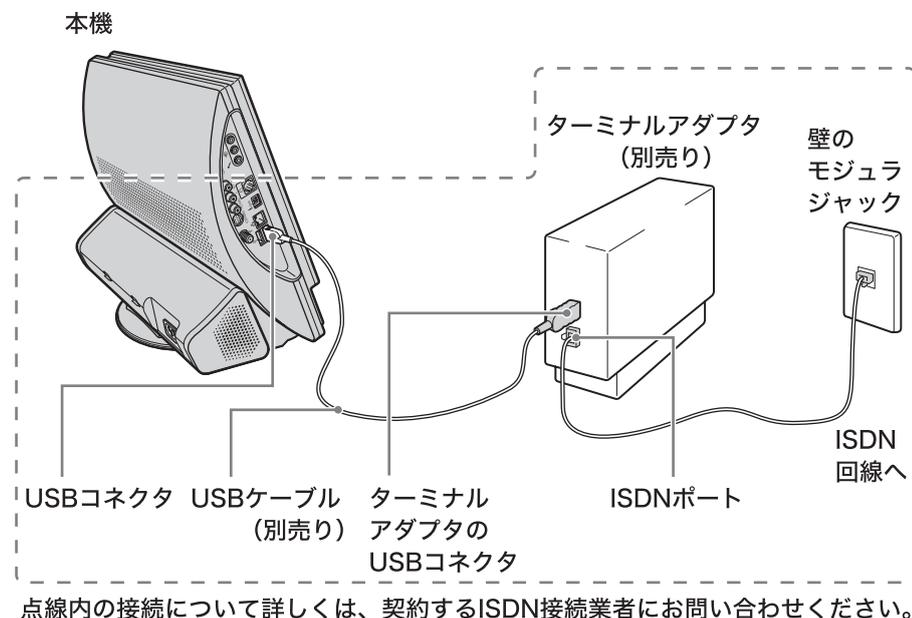
🔍 ちょっと一言

ネットワーク(LAN)ケーブルは、イーサネット(Ethernet)ケーブルと呼ばれることもあります。

ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、本機の外に「ISDNダイヤルアップルータ」や「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、下図のように本機の^{ユーエスピー}USBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。



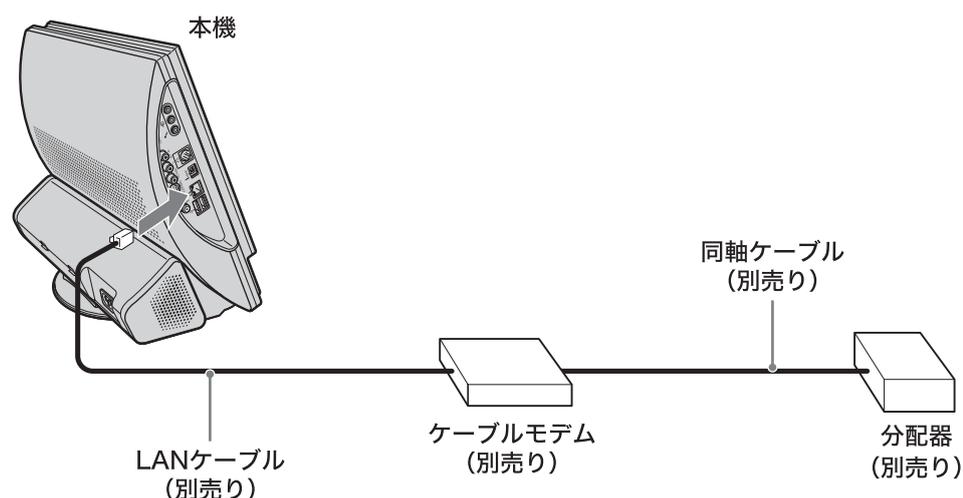
💡 ちょっと一言

本機後面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

CATVインターネット回線を利用するときは

CATVインターネットとは、CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。CATVインターネット回線を使って本機を使用するためには、本機の外に「ケーブルモデム」が必要です。

接続例



ご注意

CATV事業者や接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

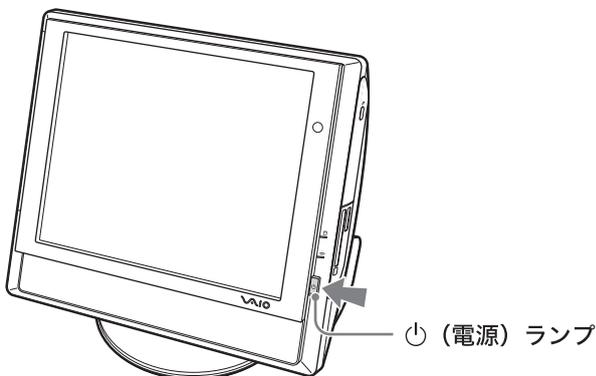
電源を入れる

本機の  (電源) ボタンを押す。

本機の電源が入り、 (電源) ランプが緑色に点灯し、Windows が起動します。

ご注意

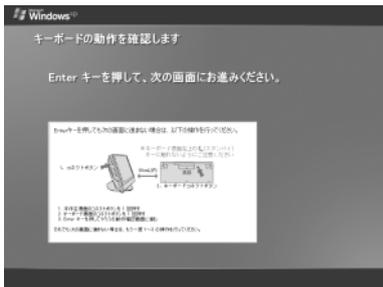
4秒以上  (電源) ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。



💡 ちょっと一言

電源を入れたあと、コンピュータを操作しないでいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の  (電源) ランプがオレンジ色に点灯します。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(40ページ)をご覧ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windows のロゴの画面が表示され、しばらくして「キーボードの動作を確認します」の画面が表示されます。「Windows を準備する」(28ページ)の手順に従って、Windows のセットアップを行ってください。



ご注意

- Windows のセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- コンピュータを安心してご使用になるため、本書の「セキュリティについて」(79ページ)をご覧ください。大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るための対策を行ってください。

💡 2回目以降に電源を入れるときは

ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windows が起動します。

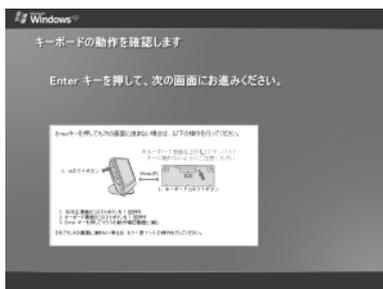
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。

Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

1

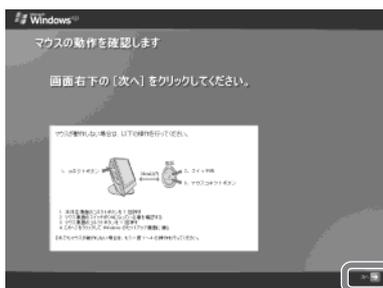
「キーボードの動作を確認します」画面が表示されたら、キーボードの  (エンター) キーを押す。



 (エンター) キーを押しても次の画面に進まない場合は画面の指示に従って操作してください。それでも動かない場合は、「マウス/キーボード」の「使えないときは」(44ページ)をご覧ください。

2

「マウスの動作を確認します」画面が表示されたら、マウスで画面右下にある  (次へ) をクリックする。



ここをクリックする。

マウスを動かしてもマウスポインタが動かない場合は、画面の指示に従って操作してください。それでも動かない場合は、「マウス/キーボード」の「使えないときは」(44ページ)をご覧ください。

3

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある  (次へ) をクリックする。

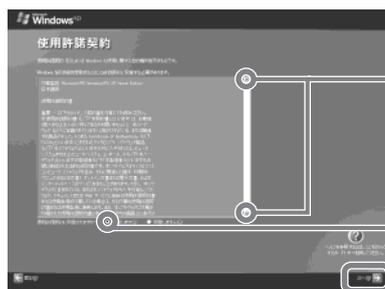


ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

4

画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは「同意します」の○をクリックして●にし、➡(次へ)をクリックする。



ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

- ① 「同意します」の○をクリックする。
○が●になる。「同意しません」の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。
- ② ここをクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

5

必要な場合はコンピュータ名を変更し、➡(次へ)をクリックする。



- ① 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。
- ② コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。
- ③ ここをクリックする。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されます。

6

⏩(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

7

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の○をクリックして●にし、➡(次へ)をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。



8

ユーザーの名前を入力し、 (次へ) をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。

9

 (完了) をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ノートン アンチウイルス

「Norton AntiVirus」をインストールする

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、インストールを行う必要があります。次の手順でインストールしてください。

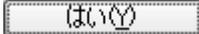
なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

1

 スタート をクリックして、[すべてのプログラム] [Norton AntiVirus 2004 インストーラ] の順にクリックする。

「ウイルススキャンしますか？」画面が表示されます。

2

 はい をクリックする。

ウイルススキャンが開始されます。

3

ウイルススキャンが終了した後、表示されるテキスト画面の  をクリックする。

4

表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

ご注意

- 「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。
- MSN インスタントメッセージスキャナは初期状態では機能しません。

5

インストール完了の画面が表示されたら、 をクリックする。
「Norton AntiVirus 情報ウィザード」が起動します。
画面に従って、設定を行います。

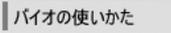
これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるようになりました。

ご注意

- 本機に付属の OS (Operating System) 以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windows の初回起動時から 60 日後に、ショートカットアイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
その後も 60 日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- Windows の起動後、以下の手順に従って、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時に合わせてください。
 - 1 デスクトップ画面左下の  をクリックし、[コントロールパネル] をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション] [日付と時刻] の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
 - 2 [日付と時刻] タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。
 - 3  をクリックする。
日時の設定が有効になります。

👤 本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の  をクリックし、画面左側の [コンピュータの基礎を学ぶ] できる Windows for VAIO] をクリックして表示される情報をご覧ください。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。登録のメリットについては、VAIOホームページ（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はご購入日から3か月です。登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクからご購入日より1年間有効な保証書（「My Sony ID」と「お客様サポート番号」を記載）をお送りします。

なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（111ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。

詳しくは、別冊「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」の「各種お問い合わせ先」をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

次の方法で手軽に登録を行うことができます。

- オンラインで登録
テレホンコードをつなぎ、一般の電話回線を通じて行うことができます。また、インターネット経由でも行うことができます。
- 付属のお申込書を郵送して登録
付属の「VAIO カスタマー登録、保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことで登録を行います。付属の「VAIO カスタマー登録、保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIO カスタマーID」を記した保証書をお送りします。その後、次のカスタマー登録の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。

💡 ちょっと一言

- VAIOオンラインカスタマー登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
 - 1 お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合（ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します）。
 - 2 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- また、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[VAIO オンラインカスタマー登録] をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとよろしくしてください。

ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）のページ上で、変更手続きを行うことができます。

1

 をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、
[VAIO オンラインカスタマー登録] をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

 ちょっと一言

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、 をクリックして表示される画面で  をクリックしてください。

2

 をクリックする。

「登録手順について」画面が表示されます。

3

 をクリックする。

「ID・パスワードの入力」画面が表示されます。

 ちょっと一言

1つ前の画面が見たいときは、 をクリックします。

4

 をクリックする。

 ちょっと一言

本機を含めてバイオをすでに2台以上おもちの方など、すでに「VAIO カスタマーID」や「My Sony ID」をおもちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

5

「VAIO オンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして●にし、 をクリックする。



① ここをクリックする。

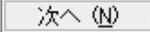
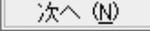
② ここをクリックする。

「発信方法の設定」画面が表示されます。

ご注意

- ・ 外線発信 (0 発信) はできません。
- ・ 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はおお客様の負担となります。
- ・ ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の  LINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。つなぎかたについては「一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATV インターネット回線に接続する (24 ページ)」をご覧ください。

☺ ちょっと一言

-  をクリックすると、手順6に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、 をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで  をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。画面の指示に従って接続先の選択を行ったあと、手順7へと進んでください。
また、ネットワーク(LAN)の環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

6

お使いの電話回線の発信方式(ダイヤル方法)を選び、 をクリックする。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の  LINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。つなぎかたについては「一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATVインターネット回線に接続する (24ページ)」をご覧ください。

☺ ちょっと一言

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式 / パルス式ダイヤルを選びます。
- トーン式ダイヤルとは
電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

7

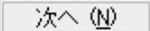
電話回線がつながっていることを確認し、 をクリックする。
電話回線を通じて通信が行われ、完了すると「問い合わせ完了」画面が表示されます。

8

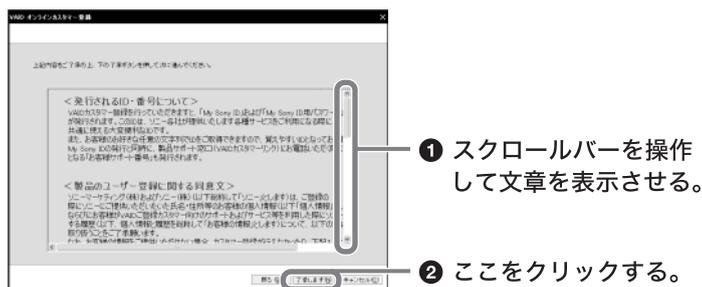
 をクリックする。

「VAIOカスタマー登録の特典 / VAIOカスタマー登録のご注意」画面が表示されます。

9

 をクリックする。

10 スクロールバーをドラッグするか、▼または▲をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは「**了承します**>」をクリックする。



「IDの規約の確認」画面が表示されます。

11 スクロールバーをドラッグするか、▼または▲をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは「**同意する**>」をクリックする。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

ご注意

[同意しない] をクリックすると、カスタマー登録は完了しません。

12 画面の指示に従って入力し、「**次へ (N)**」をクリックする。

「電子メールアドレスの入力」画面が表示されます。

13 すでに電子メールアドレスをおもちの方は、電子メールアドレスを入力し、「**次へ (N)**」をクリックする。

「お客様ご住所等の入力」画面が表示されます。

14 必要な項目を入力し、「**次へ (N)**」をクリックする。

ご注意

- 「お客様ご住所等の入力」画面の「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 保証書などの送付先がここで入力した住所と同じ場合は、画面下部の「保証書等の送付先住所を上記と同様にする」のをクリックしてにしてください。

🗨️ ちょっと一言

「お客様ご住所等の入力」画面で、「郵便番号」を入力したあと、「**住所検索(S)**」をクリックすると、簡単に住所検索ができます。

15 「My Sony ID」の「@」前にご希望の文字列と、「My Sony ID用パスワード」、「パスワード初期化のための合言葉」を入力し、をクリックする。



- ① 生年月日を入力する。
- ② 性別を選ぶ。
- ③ 郵便番号を入力する。
(ハイフンは入力しない)
- ④ ここをクリックする。

「製品情報の入力」画面が表示されます。

ご注意

- ・「My Sony ID用パスワード」は英字と数字を混ぜて入力してください。英字のみ、または数字のみのパスワードは設定できません。
- ・「My Sony ID用パスワード」は「登録内容の確認」画面では表示されません。「My Sony ID用パスワード」を忘れないようご注意ください。

👁️ ちょっと一言

「パスワード初期化のための合言葉」は、「My Sony ID用パスワード」を忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行う機能です。

16 本機のモデル名を確認し、本機の購入日や販売店名を入力し、をクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

👁️ ちょっと一言

「製品情報の入力」が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

17 登録内容を確認し、をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

18 をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の (電話回線) ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。つなぎかたについては「一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATVインターネット回線に接続する」(24ページ)をご覧ください。

19 をクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について

VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には「My Sony ID」をご使用ください。

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

ご注意

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際に、「My Sony ID」はご使用できません。

 ちょっと一言

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。

20 をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

21 ファイルに任意の名前を付け、 をクリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

22 「ご登録の完了」画面の をクリックする。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

 ちょっと一言

 をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、 をクリックしてください。

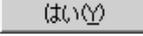
VAIOカスタマー登録情報を変更するには

1

 をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、
[VAIO オンラインカスタマー登録] をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。………」というメッセージが表示されます。

2

 をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

3

 をクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

4

 をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

電源を切る

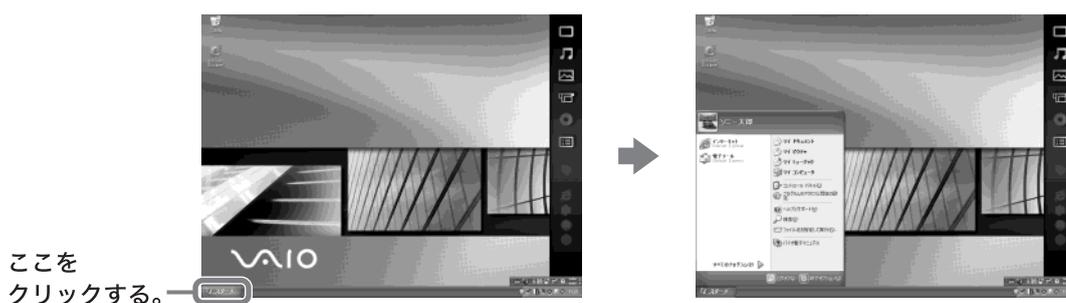
電源を切るときは、必ず下記の手順に従って電源を切ってください。下記の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の(⏻ 電源)ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集集中のファイルが使用できなくなることがあります。

👁️ ちょっと一言

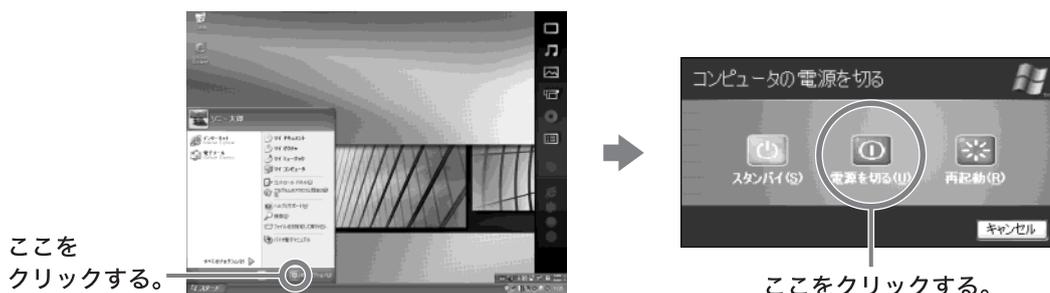
デスクトップ画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

1 デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。



2 [終了オプション]をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。



しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、(⏻ 電源)ランプが消灯します。

ご注意

- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する(28ページ)の手順8で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

これで本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。

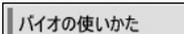
さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

	スタンバイモード	休止状態
本機の(電源)ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、CPUの電源を切ります。 席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。最低限必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。 現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	<ul style="list-style-type: none"> • キーボードの(スタンバイ)キーを押す。 • デスクトップ画面左下の  をクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本機右側面の(電源)ボタンを押す。* • デスクトップ画面左下の  をクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で Shift(シフト)キーを押しながら[休止状態]をクリックする。
通常の動作モードに戻すには	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の(電源)ボタンを押す。 • キーボードの(スタンバイ)キーを押す。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す。 	本機の(電源)ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。

* (電源)ボタンを押してから、本機が休止状態に入るまでしばらく時間がかかります。
(電源)ボタンを4秒以上押し続けると電源が切れてしまいますので、4秒以上押さないようご注意ください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の  をクリックし、画面左側の[電源/省電力] [省電力]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

マウス / キーボード

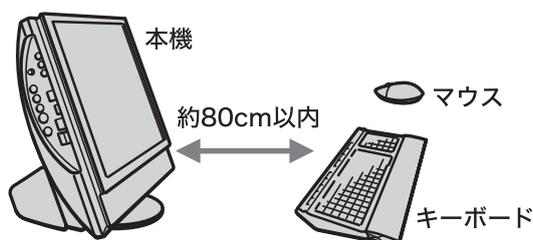
この章では、マウスとキーボードをお使いになる時のご注意や、乾電池の交換方法などについて説明します。

マウス / キーボード	42
-------------------	----

マウス / キーボード

ご使用になる環境について

本機とマウスとの距離、または本機とキーボードの距離は約80cm以内でご使用ください。また、金属製の机の上など、マウスやキーボードの近くに金属があると、電波の到達距離が短くなる場合があります。また、本機に付属のマウスはオプティカル(光学式)マウスです。場所によっては動作が不安定になる場合があります。オプティカルマウスについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」をクリックし、画面左側の「マウス / キーボード / リモコン」[マウス]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



ご注意

本機を複数台使用した場合、電波の混信によりマウスやキーボードが正常に動作しない場合があります。詳しくは「使えないときは」(44ページ)をご覧ください。

乾電池の残量とキーボードの状態表示について

乾電池の残量表示はあくまでも目安です。使用する乾電池の種類によって、正しく表示されないことがあります。

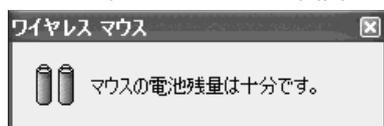
デスクトップ画面右下の通知領域



マウスの乾電池残量を確認するときは、ここをクリックします。

キーボードの乾電池残量とキーの状態を確認するときは、ここをクリックします。

マウスの乾電池残量の表示画面



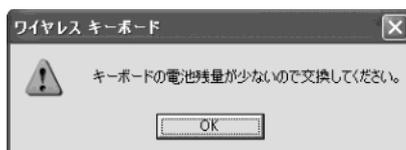
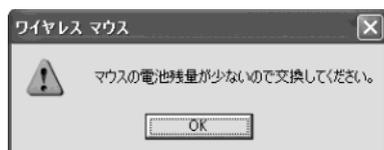
キーボードの乾電池残量とキーの状態表示画面



Caps Lock (キャプス・ロック)
Num Lock (ナム・ロック)
Scroll Lock (スクロール・ロック)
の状態をここで確認します。

キーボードの乾電池残量は
ここで確認します。

以下の画面が表示された場合は、乾電池を交換してください。



乾電池を交換するときは

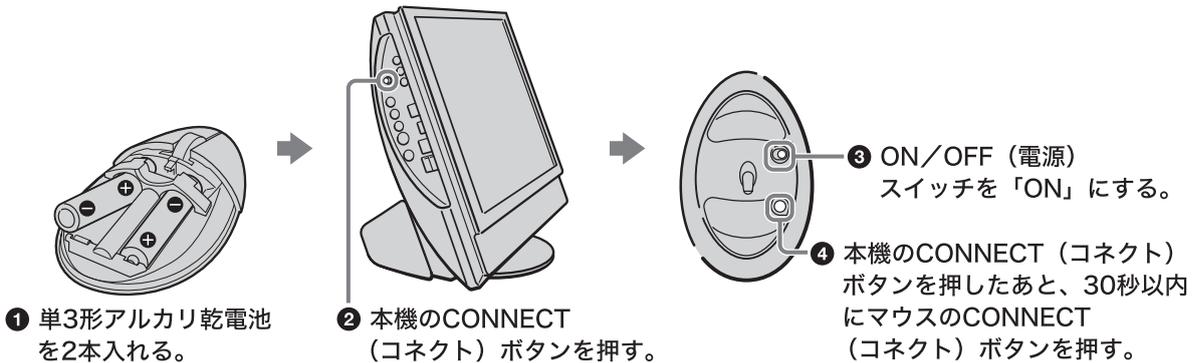
乾電池を交換するときは、乾電池を入れたあとに、必ず次のような設定をする必要があります。

乾電池の入れかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」をクリックし、画面左側の「設置 / 接続 / 拡張」[本機の設置 / 接続] [接続する]の順にクリックし、「キーボード / マウス / リモコンを準備する」をクリックして表示される情報か、付属のセットアップガイドをご覧ください。

ご注意

- マウスの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の入れ替えをするときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- CONNECT(コネクト)ボタンを押すときは、本機とマウスの距離、または本機とキーボードの距離は約30cm以内で行ってください。

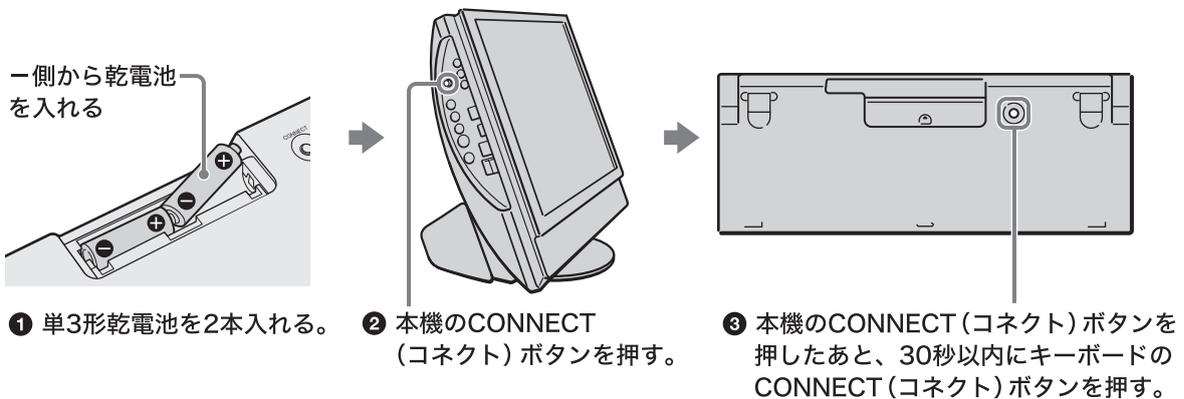
□ マウス



💡 ちょっと一言

マウスを長時間使わないときは、ON / OFF(電源)スイッチを「OFF」にすると乾電池の寿命が延びます。

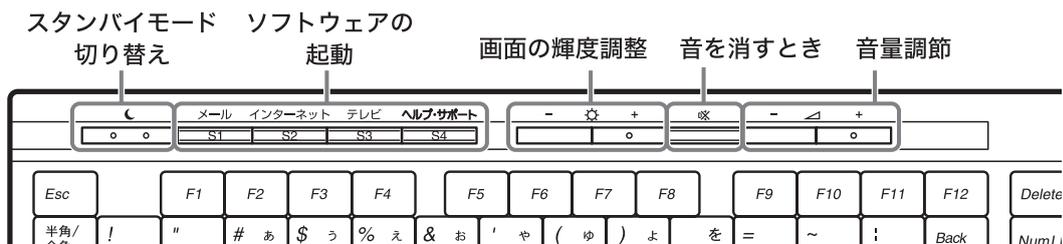
□ キーボード



ご注意

- キーボードの表面の左上にある⌘(スタンバイ)キーに触れないようにご注意ください。
- 乾電池の消耗が早くなるため、キーボードの上に物をのせないでください。

キーボードの便利な使いかた



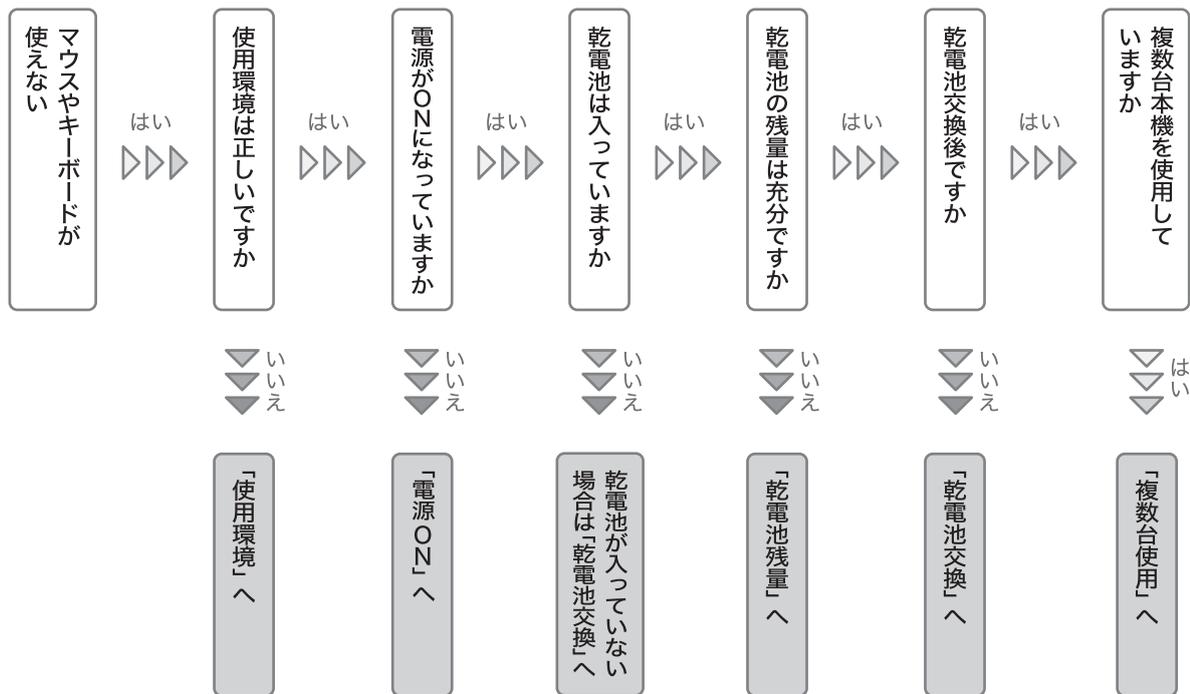
💡 ちょっと一言

- ⌘(スタンバイ)キーを押してから、本機がスタンバイモードに入るまでしばらく時間がかかります。長く押し続けたり、2度押ししないようにしてください。
- 通常の動作モードに戻すときも、⌘(スタンバイ)キーを押します。

ご注意

キーボードの上に物をのせないでください。パームレストを閉じた上でも物をのせると、キーが押され続けて乾電池を消耗したり、故障の原因にもなります。

使えないときは



解決方法

使用環境	本機とマウス、または本機とキーボードの距離は約80cm以内でご使用ください。金属製の机の上など、マウスやキーボードの近くに金属があると、電波の到達距離が短くなる場合があります。また、本機に付属のマウスは光学式です。場所によっては動作が不安定になる場合があります。
電源ON	本機に付属のマウスは、乾電池の消耗を抑えるためにON / OFF (電源)スイッチが付いています。本機を長時間使用しない場合は、電源をOFFにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずONになっていることをご確認ください。
乾電池交換	乾電池をマウスまたはキーボードに正しく入れ、本機のCONNECT(コネクト)ボタンを押します。その後30秒以内に、乾電池を交換したマウスまたは乾電池を交換したキーボードのCONNECT(コネクト)ボタンを押します。このとき、マウスまたはキーボードが、本機と十分に近い位置(30cm以内)でボタンを押すようにしてください。
乾電池残量	マウスの乾電池の残量は、デスクトップ画面右下にある通知領域の  をクリックして表示される画面で確認することができます。また、キーボードの乾電池の残量は、デスクトップ画面右下にある通知領域の  をクリックして表示される画面で確認することができます。 乾電池の残量が少ない場合は、上記の乾電池交換の手順に従って交換してください。
複数台使用	本機を複数台使用した場合、電波の混信によりマウスまたはキーボードが正常に動作しない場合があります。その場合には、下記の手順に従ってください。 マウスの場合 <ol style="list-style-type: none"> 1 設定をやり直したいコンピュータ本体のCONNECT(コネクト)ボタンを押す。 2 30秒以内にマウスの右ボタン、左ボタン、ホイールを同時に押しながら、マウスのCONNECT(コネクト)ボタンを押す。 3 再び、マウスのCONNECT(コネクト)ボタンのみを押す。 キーボードの場合 <ol style="list-style-type: none"> 1 キーボードから乾電池をいったん取りはずし、1分以上放置する。 2 再びキーボードに乾電池を入れ、使用したいコンピュータ本体のCONNECT(コネクト)ボタンを押す。 本機を複数台で設置、ご使用になる場合は、以下の点にご注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> • 1台ずつ設定を行ってください。複数台を同時に設定しようとすると混信する場合があります。 • 2m以上間隔をおいて設置してください。

テレビ / DVD ビデオ / 音楽を楽しむ

この章では、本機を使ってテレビやDVDビデオ、音楽を楽しむ方法を説明します。

基本設定を行う	46
テレビを見る	52
DVD ビデオを見る	68
音楽を聞く	70

基本設定を行う

ドゥー バイオ

Do VAIOを使って、テレビやビデオなどの映像、音楽、デジタル写真、音楽CD、DVDを本機で楽しむことができます。

コンピュータのさまざまな入力デバイス(マウス、キーボード、リモコン)を使って、どのコンテンツも同様の操作で楽しむことができます。

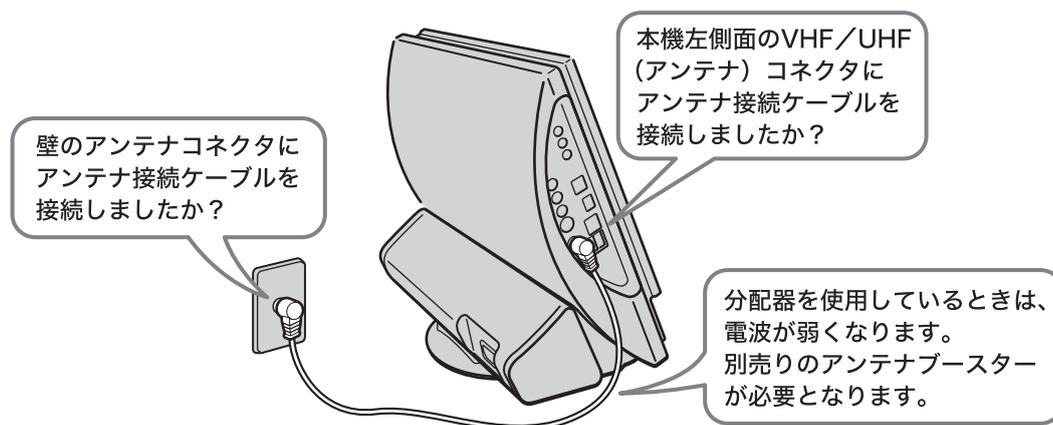


ご注意

ソニックステージ

本機にためた音楽コンテンツを再生する場合は「SonicStage」ソフトウェアであらかじめ取り込んでおく必要があります。また、デジタル写真を見るときはDo VAIOであらかじめ設定したフォルダに写真を保存しておく必要があります。

アンテナに接続する



💡 ちょっと一言

アンテナの接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」をクリックし、画面左側の「設置 / 接続 / 拡張」[本機の設置 / 接続] [接続する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

Do VAIOの基本設定を行う

はじめてDo VAIOを使うときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから、次の手順に従って、テレビを見るためのチャンネル設定や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。

基本設定を行う

1 リモコンのVAIOボタンを押すか、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [次へ] をクリックする。

「テレビを見るための準備を行います。初めにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

4 [次へ] をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの設定が完了しました」画面が表示されます。

 ちょっと一言

「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOはバイオにためた映像や写真、音楽などのコンテンツを楽しむことができます」画面が表示されます。[完了] をクリックすると、Do VAIOの基本設定が完了します。

5 [次へ] をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOはバイオにためた映像や写真、音楽などのコンテンツを楽しむことができます」画面が表示されます。

6 [完了] をクリックする。

「[マイ ドキュメント] フォルダに保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい] をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

💡 ちょっと一言

[はい] をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。

また、[いいえ] をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIO で利用しません。

Do VAIO の基本設定が完了します。

💡 ちょっと一言

Do VAIO の基本設定をあとから変更する場合は、デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定] をクリックして表示される画面で設定してください。詳しくは、Do VAIO のヘルプをご覧ください。

チャンネル設定を変更するには

1

スタート をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定] をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2

[テレビ・ビデオ] をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3

[チャンネル一覧の作り直し] をクリックする。



ここをクリックする。

4

確認画面が表示されるので、[はい] をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。



5

本機を使う都道府県および最も近い地域を選択し、[次へ]をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、チャンネル一覧に表示されます。

Norton AntiVirusをお使いの方へ

ノートン アンチウイルス

「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアをお使いのときに、Do VAIOを使って録画をすると、正常に録画が行われない場合があります。正常に録画をするためには、「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更するには、次の手順に従って操作してください。なお、この設定はDo VAIOを1度起動して、基本設定(46ページ)を行ったあとに行ってください。

1

デスクトップ画面左下の  をクリックして [すべてのプログラム] [Norton AntiVirus] の順にポインタを合わせ、[Norton AntiVirus 2004] をクリックする。

「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアが起動します。

2

「Norton AntiVirus」画面上部の  (オプション) をクリックする。



「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。

3

「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の [Auto-Protect] をクリックし、[除外] をクリックする。



「Norton AntiVirus オプション」画面右側に、「除外リスト」が表示されます。

4

「除外リスト」の「除外する項目」右側の **新規(N)...** をクリックする。
除外する項目を追加する画面が表示されます。



5

「サブフォルダも含める」が になっているのを確認し、 をクリックする。



「フォルダの参照」画面が表示されます。

6

[ローカルディスク (D:)] [VAIO Entertainment] の順にダブルクリックする。



7

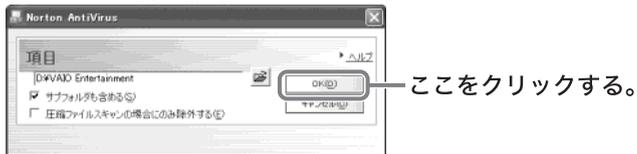
OK(O) をクリックする。

手順4で表示された画面に「D: ¥ VAIO Entertainment」と表示されます。



8

をクリックする。



9

「除外する項目」に「D:\VAIO Entertainment」が追加されていることを確認し、 をクリックする。



☺ ちょっと一言

Do VAIOで保存先のドライブをご自分で変更した場合は、手順4に戻り、変更したドライブの「VAIO Entertainment」フォルダを除外リストに追加してください。

⚠ ご注意

「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアの設定を変更すると、Do VAIOで録画されたビデオファイルはウイルスチェックされなくなりますので、これらのファイルのウイルスチェックを定期的な手動で行ってください。

テレビを見る

本機でテレビを見たり、番組を録画したりするには、^{ドゥー バイオ}Do VAIOを使います。

Do VAIOの操作方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプもあわせてご覧ください。

本機でテレビを見たり、番組を録画したりするには、Do VAIOの設定が必要です。必ずアンテナの接続と基本設定(46ページ)を行ってください。

テレビ番組を見る

1

リモコンのテレビボタンを押す。

Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。

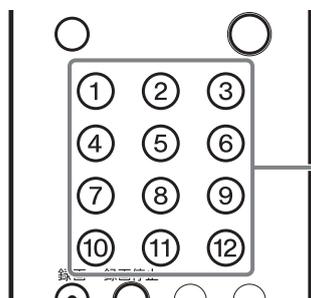


テレビボタン



2

リモコンのチャンネル数字ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ。



チャンネル数字ボタン

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIO が起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [テレビ] の順にクリックする。



テレビ/DVDビデオ
／音楽を楽しむ

3

見たいチャンネルをクリックする。



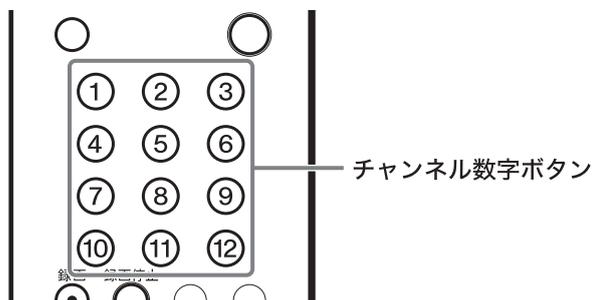
1

リモコンのテレビボタンを押す。
Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。



2

リモコンのチャンネル数字ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ。



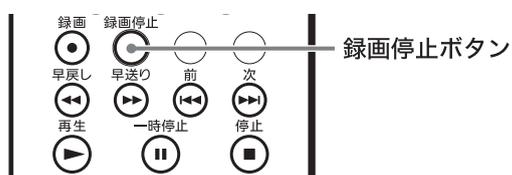
3

リモコンの録画ボタンを押す。
表示されているチャンネルの録画が開始されます。



💡 ちょっと一言

録画を止めるときは、リモコンの録画停止ボタンを押します。



1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIO が起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [テレビ] の順にクリックする。



テレビ/DVDビデオ
/音楽を楽しむ

3

録画したいチャンネルをクリックする。



テレビの視聴画面が表示されます。



4

マウスを動かさずと表示される画面下部の操作メニューから  (録画) をクリックする。

表示されているチャンネルの録画が開始されます。



💡 ちょっと一言

マウスで録画を止めるときは、次の手順に従って操作します。

- ① [テレビ・ビデオ] [テレビ] 録画をしているチャンネルの順にクリックし、テレビの視聴画面を表示させる。
- ② マウスを動かさずと表示される画面下部の操作メニューから  (録画停止) をクリックする。
録画が停止されます。

録画予約する

ご注意

予約録画の待機中は、本機の電源を入れておく必要があります。予約した開始時刻の約5分前まで本機を省電力モードにすることができます。この場合、予約した開始時刻の約5分前に通常の動作モードに戻ります。

番組表で録画予約する

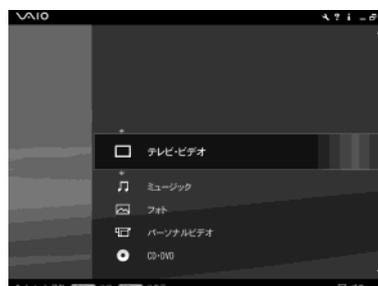
ご注意

- この操作を行うときは、インターネットに接続している必要があります。
- この操作を行うためには、画面の解像度を1024 × 768以上にしている必要があります。

1

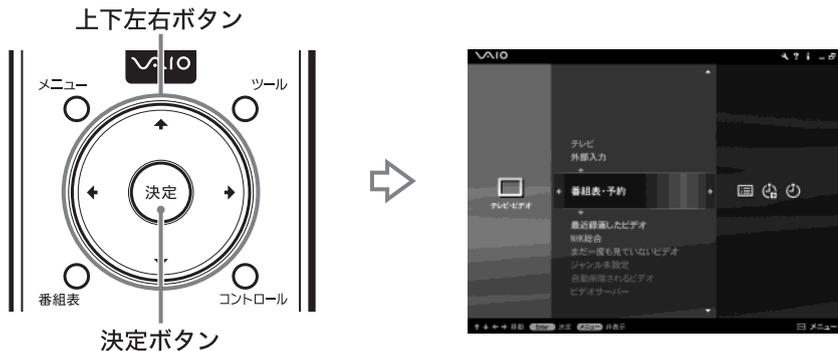
リモコンのVAIOボタンを押す。

Do VAIOが起動します。



2

[テレビ・ビデオ] をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押して表示されたメニューから [番組表・予約] を上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



3

[番組表から予約] をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。インターネット電子番組表が表示されます。



💡 ちょっと一言

リモコンの番組表ボタンを押しても、インターネット電子番組表を表示することができます。

4

録画したい番組をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

5

[録画予約を追加] をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。



録画予約が設定されます。

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIO が起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [番組表・予約] の順にクリックする。



3

[番組表から予約] をクリックする。
インターネット電子番組表が表示されます。



4

録画したい番組をクリックする。

5

[録画予約を追加] をクリックする。



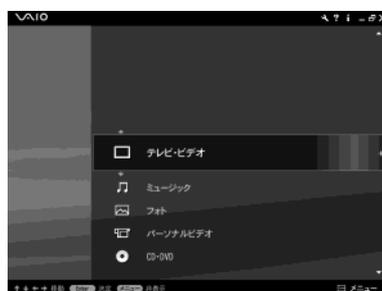
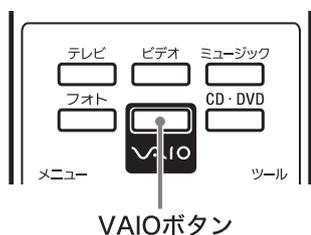
録画予約が設定されます。

日時を指定して録画予約する

1

リモコンのVAIOボタンを押す。

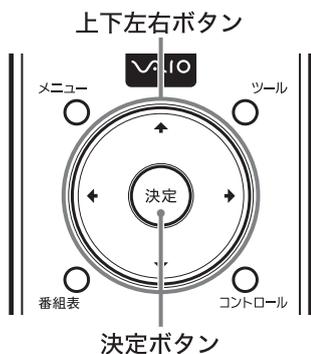
Do VAIOが起動します。



テレビ/DVDDビデオ
/音楽を楽しむ

2

[テレビ・ビデオ] をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押して表示されたメニューから [番組表・予約] を上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



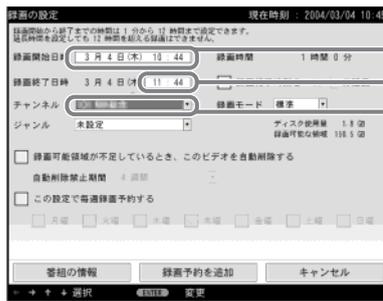
3

[日時を指定して予約] をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

「録画の設定」画面が表示されます。

4

リモコンの上下左右ボタンと決定ボタンで、録画開始日時と録画終了日時、チャンネルを設定する。



- ① 録画開始日時を設定する。
- ② 録画終了日時を設定する。
- ③ チャンネルを選択する。

上下左右ボタンで設定したい箇所へ移動し、決定ボタンを押して表示されたメニューから項目を選択します。

5

[録画予約を追加] をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

録画予約が設定されます。

マウスで操作する場合

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。Do VAIO が起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [番組表・予約] の順にクリックする。

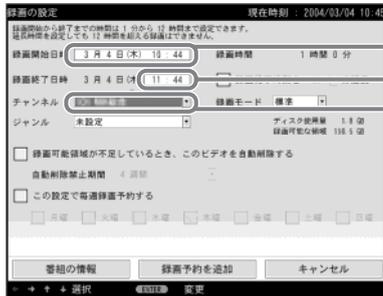


3

[日時を指定して予約]をクリックする。
「録画の設定」画面が表示されます。

4

録画開始日時と録画終了日時、チャンネルを設定する。



- ① 録画開始日時を設定する。
- ② 録画終了日時を設定する。
- ③ チャンネルを選択する。

5

[録画予約を追加]をクリックする。
録画予約が設定されます。

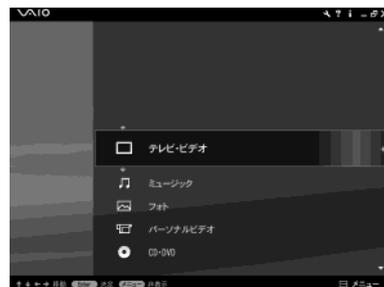
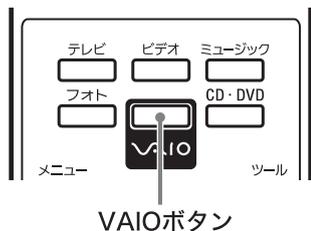
💡 ちょっと一言

- 「録画の設定」画面では、録画開始日時、録画終了日時、チャンネルの他にも、「録画モード」や「ジャンル」なども設定することができます。これらの項目は必要に応じて設定してください。
- 設定した録画予約の確認や録画予約の変更・取り消しについて詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

録画したテレビ番組を見る

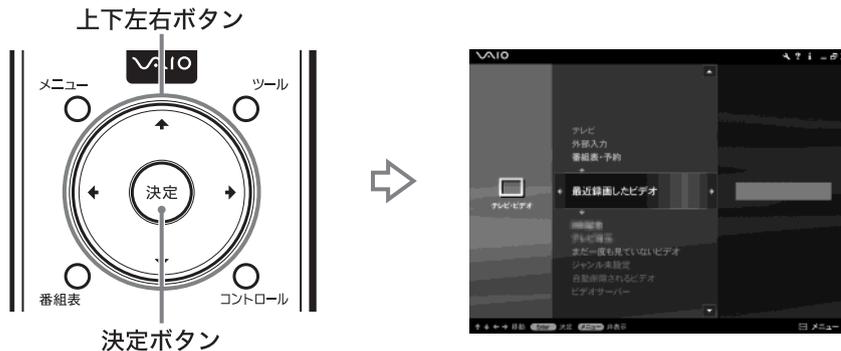
1

リモコンのVAIOボタンを押す。
Do VAIOが起動します。



2

[テレビ・ビデオ] をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押して表示されたメニューから [最近録画したビデオ] を上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



3

見たい番組をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。
テレビ番組の再生が始まります。

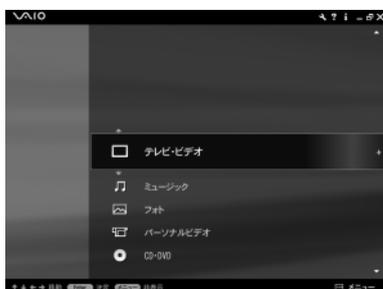
💡 ちょっと一言

録画したテレビ番組をすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、見たい番組を選んだあとに [ツール] ボタンを押して表示されるメニューから [先頭から再生] を選ぶと、先頭から再生されます。

マウスで操作する場合

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIO が起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [最近録画したビデオ]の順にクリックする。



3

見たい番組をクリックする。

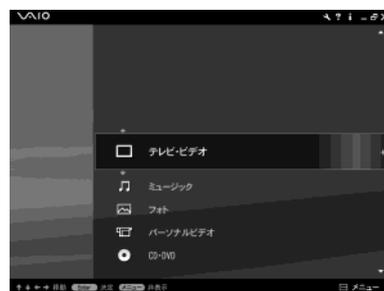
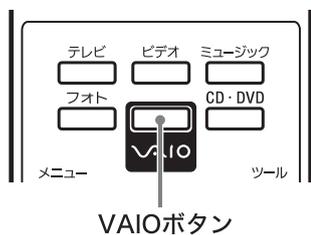
テレビ番組の再生が始まります。

録画したテレビ番組のDVDビデオを作成する

1

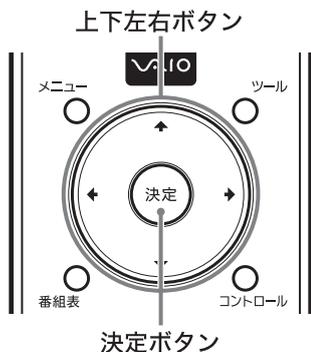
リモコンのVAIOボタンを押す。

Do VAIOが起動します。



2

[テレビ・ビデオ]をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押して表示されたメニューから[最近録画したビデオ]を上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



💡 ちょっと一言

[最近録画したビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に一度も見たことがないテレビ番組をDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3

DVDに書き込みたいテレビ番組をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押す。



録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4

[DVDへ書き込む]をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

5

未使用のDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWのいずれかのディスクを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。

「DVDへ書き込み」画面が表示されます。



ご注意

記録済みのDVD-RW / DVD+RWをディスクドライブに入れた場合、すでに記録されているデータを消去するかどうかを選択する画面が表示されます。記録されているデータを消去するときは[はい]を選択して次の画面に進みます。データを消去しないときは、[いいえ]を選択し、別のディスクを入れてください。

6

他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択]をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押して「複数のビデオをDVDへ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択する。

「複数のビデオをDVDへ書き込み」画面には、録画したビデオの一覧が表示されます。DVDに書き込むテレビ番組を選択してチェックを付けます。

💡 ちょっと一言

選択したテレビ番組のファイルサイズの合計がDVDの空き容量を超える場合、画質を落として1枚のDVDに収まるようにするかどうかを確認する画面が表示されることがあります。この画面で[はい]を選択すると、1枚のDVDに収まるように画質を変換してDVDに書き込みます。画質を落とさずにDVDを作成する場合は、[いいえ]を選択し、1枚のディスクに収まるように、DVDに書き込むテレビ番組の数を減らして調整してください。この画面で[いいえ]を選択しても、あとから表示される「ぴったり1枚に収める」チェックボックスにチェックを付けると、1枚のディスクに収まるように画質を変換してDVDに書き込むことができます。

7

[DVD作成開始]をリモコンの左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。
「DVDの作成」画面が表示されます。

8

[作成開始]をリモコンの左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。



選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。
書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

💡 ちょっと一言

DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さでコンピュータの処理速度によって異なります。

9

同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときには [もう1枚作成] を選択し、DVDの作成を終了するときには [終了] を選択する。

[もう1枚作成] を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。[終了] を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

マウスで操作する場合

1

デスクトップ画面左下の [スタート] をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIOが起動します。



2

[テレビ・ビデオ] [最近録画したビデオ]の順にクリックする。



録画したビデオの一覧が表示されます。

ちょっと一言

[最近録画したビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に一度も見たことがないテレビ番組をDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3

DVDに書き込みたいテレビ番組を選択し、をクリックする。



録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4

[DVDへ書き込む]をクリックする。

5

未使用のDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWのいずれかのディスクを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。

「DVDへ書き込み」画面が表示されます。



ご注意

記録済みのDVD-RW / DVD+RWをディスクドライブに入れた場合、すでに記録されているデータを消去するかどうかを選択する画面が表示されます。記録されているデータを消去するときは [はい] を選択して次の画面に進みます。データを消去しないときは、[いいえ] を選択し、別のディスクを入れてください。

6

他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択] をクリックして「複数のビデオを DVD へ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択する。

「複数のビデオを DVD へ書き込み」画面には、録画したビデオの一覧が表示されます。DVDに書き込むテレビ番組を選択してチェックを付けます。

💡 ちょっと一言

選択したテレビ番組のファイルサイズの合計がDVDの空き容量を超える場合、画質を落として1枚のDVDに収まるようにするかどうかを確認する画面が表示されることがあります。この画面で [はい] を選択すると、1枚のDVDに収まるように画質を変換してDVDに書き込みます。画質を落とさずにDVDを作成する場合は [いいえ] を選択し、1枚のディスクに収まるように、DVDに書き込むテレビ番組の数を減らして調整してください。この画面で [いいえ] を選択しても、後から表示される [ぴったり1枚に収める] チェックボックスにチェックを付けると、1枚のディスクに収まるように画質を変換してDVDに書き込むことができます。

7

[DVD作成開始] をクリックする。

「DVD の作成」画面が表示されます。

8

[作成開始] をクリックする。



選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。

書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

💡 ちょっと一言

DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さでコンピュータの処理速度によって異なります。

9

同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときには [もう1枚作成] を選択し、DVDの作成を終了するときには [終了] を選択する。

[もう1枚作成] を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。[終了] を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

DVD ビデオを見る

ドゥー バイオ

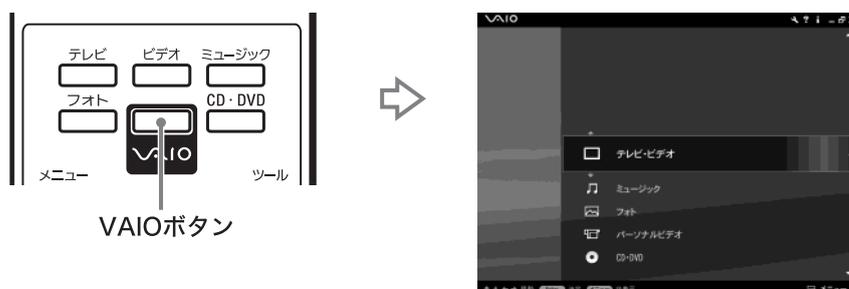
Do VAIOでDVDビデオを再生することができます。

Do VAIOの操作方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

1

リモコンのVAIOボタンを押す。

Do VAIOが起動します。



2

再生したいDVDビデオを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。

DVDビデオが再生されます。

ご注意

ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、リモコンのCD・DVDボタンを押してください。

👁️ ちょっと一言

DVDビデオをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、リモコンのツールボタンを押して表示されるメニューで「先頭から再生」を選ぶと、先頭から再生されます。

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。Do VAIO が起動します。



2

再生したいDVDビデオを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。

DVDビデオの再生が始まります。

ご注意

ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、[CD・DVD] [DVD] の順にクリックし、DVDビデオを入れたドライブ名をクリックしてください。

💡 ちょっと一言

DVDビデオをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、マウスを動かすと表示される画面下部の操作メニューから [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [先頭から再生] をクリックしてください。先頭から再生されます。

音楽を聞く

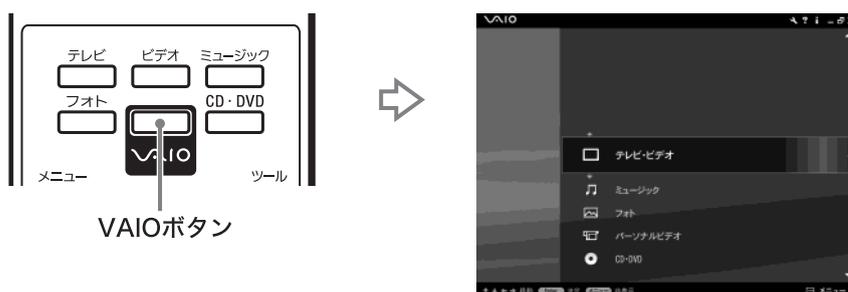
ドゥー バイオ ソニックステージ
Do VAIOで、音楽CDや「SonicStage」ソフトウェアを使ってあらかじめ本機にためた音楽コンテンツを再生することができます。

Do VAIOの操作方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

音楽CDを再生する

1 リモコンのVAIOボタンを押す。

Do VAIOが起動します。



2 再生したい音楽CDを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。

音楽CDが再生されます。

ご注意

ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、リモコンのCD・DVDボタンを押してください。

マウスで操作する場合

1 デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックして「すべてのプログラム」[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、「Do VAIO」をクリックする。

Do VAIOが起動します。



2

再生したい音楽CDを、本機のディスクドライブ(19ページ)に入れる。
音楽CDの再生が始まります。

ご注意

ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、
[CD・DVD] [CD]の順にクリックし、音楽CDを入れたドライブ名をクリックしてください。

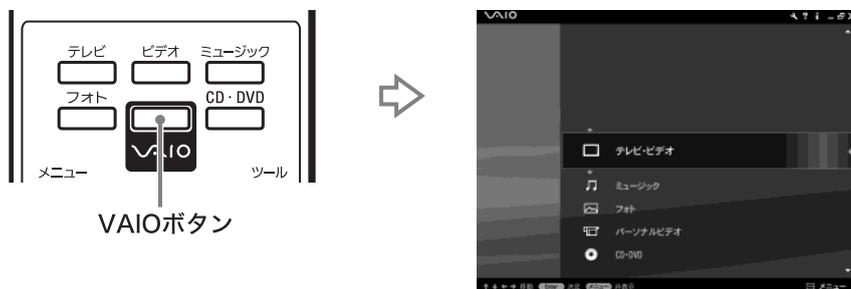
本機に保存した音楽コンテンツを再生する

「SonicStage」ソフトウェアなどを使ってあらかじめ本機にためた音楽コンテンツを再生することができます。音楽コンテンツの取り込みについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1

リモコンのVAIOボタンを押す。

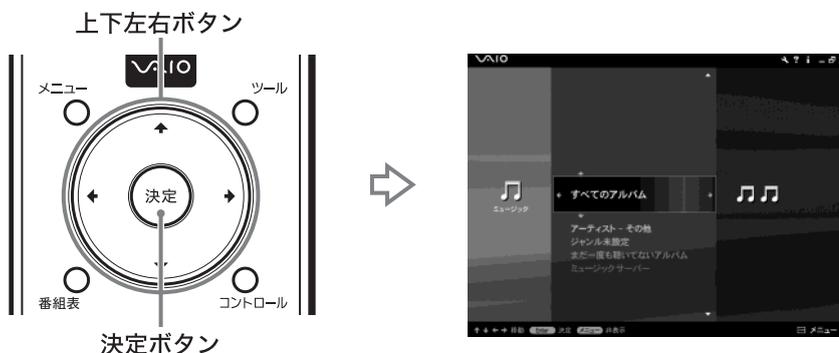
Do VAIOが起動します。



テレビ/DVDビデオ
/音楽を楽しむ

2

[ミュージック]をリモコンの上下ボタンで選び、右ボタンを押して表示されたメニューから[すべてのアルバム]を上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。



3

再生したいアルバムを上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

音楽コンテンツの再生が始まります。

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [Do VAIO] の順にポインタを合わせ、[Do VAIO] をクリックする。
Do VAIO が起動します。



2

[ミュージック] [すべてのアルバム] の順にクリックする。



3

再生したいアルバムをクリックする。
音楽コンテンツの再生が始まります。

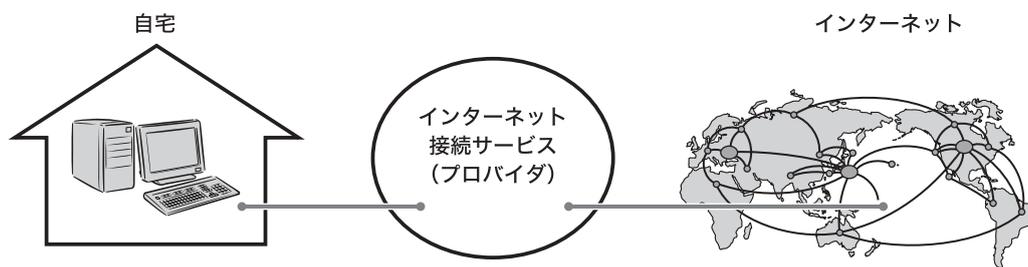
インターネットを始める

この章では、インターネットを始めるにあたっての説明をします。

インターネットとは	74
インターネット上でのトラブルについて	76
インターネットに接続するまでの流れ	77
チェックシートを作成する	78
セキュリティについて	79

インターネットとは

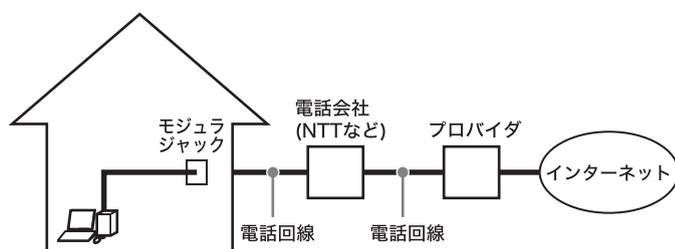
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。



インターネットに接続するための回線

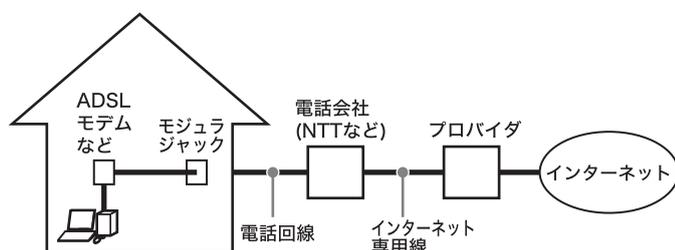
インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。ここでは、代表的な接続方法を紹介します。

□ 一般電話回線



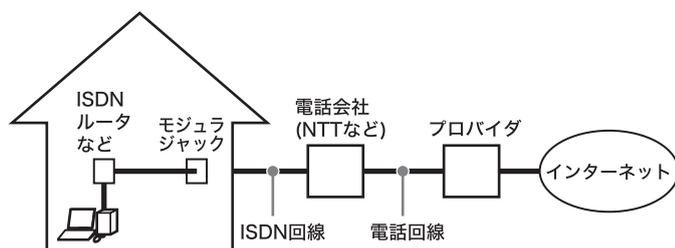
通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。バイオのようなモデム内蔵タイプのコンピュータを利用する場合には、特別な機器を必要としません。

□ ADSL



通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。

□ ISDN



NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器(ISDNルータなど)が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り替える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」といいます)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ



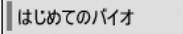
Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア



Outlook Express

💡 ちょっと一言

- VAIOランチャーの  (インターネット カウンセラー) をクリックするか、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [すべてのプログラム] [インターネット設定とプロバイダー比較] [インターネット カウンセラー] をクリックして表示される画面から、プロバイダとの契約を行うことができます。
- インターネットについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の  はじめてのバイオ をクリックし、画面左側の  はじめてのインターネット をクリックして表示される情報をご覧ください。

インターネット上でのトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用するとおぼろぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルをもって情報を利用する必要があります。また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になるおそれもあります。

ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

🗨️ ちょっと一言

コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティについて」(79ページ)をご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意をもった人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか。詳しくは、「一般電話回線 / ADSL / ISDN / CATV インターネット回線に接続する (24 ページ) 」をご覧ください。ADSL をご利用の場合は、契約する接続業者にご相談ください。
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

① プロバイダと契約しましょう

プロバイダを選んで契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。



② チェックシートを作成しましょう

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください。



③ 接続のための設定をしましょう

チェックシートをもとに設定をします。ご利用になる電話回線によって設定方法が異なります。

- ADSLでインターネットに接続する
- 一般電話回線でインターネットに接続する



④ ホームページを見てみましょう

ホームページを見る練習をします。

⑤ 電子メールソフトウェアの設定をしましょう

チェックシートをもとに電子メールを使うための設定をします。



⑥ 電子メールをやりとりしてみましょう

電子メールをやりとりする練習をします。

インターネットについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **はじめてのバイオ** をクリックし、画面左側の **はじめてのインターネット** をクリックして表示される情報をご覧ください。

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記の「チェックシート」をコピーするなどして、あらかじめ作成しておく、インターネットに接続するための設定が簡単になります。

チェックシートの作成について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「はじめてのバイオ」をクリックし、画面左側の「はじめてのインターネット」[チェックシートを作成する]をクリックして表示される情報をご覧ください。

チェックシート

設定項目	あなたの設定値	例(So-netの場合)
①ダイヤルアップ接続名		So-net
②電話番号(アクセスポイント)		03-5792-6011
③ユーザー名(PPP)		ichiro@aa2
④パスワード(PPP)		
⑤市外局番		03
⑥トーン/パルス(電話回線の種類)		
⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)	. . .	202.238.95.24
⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)	. . .	202.238.95.26
⑨表示名(差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
⑩電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⑪受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⑫送信メール(SMTP)サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⑬POPアカウント名		ichiro
⑭パスワード(POPアカウントパスワード)		
⑮インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

接続のための設定をする

チェックシートを作成したら、チェックシートをもとにインターネットに接続するための設定をします。

- 接続のための設定をする(一般電話回線の場合)
- 接続のための設定をする(ADSL の場合)
- ホームページを見る
- 電子メールの設定をする など

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「はじめてのバイオ」をクリックし、画面左側の「はじめてのインターネット」をクリックして表示される情報をご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルスが潜んでいる場合があります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

☹ コンピュータウイルスに侵入されると ...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

ノートン アンチウイルス

「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

ご注意

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、 **スタート** [すべてのプログラム] [ Norton AntiVirus 2004 インストーラ] の順にクリックします。

以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧ください。また、次の「シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター」お問い合わせください。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ：<http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>

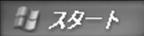
ご注意

本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

☺ ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして [すべてのプログラム] [Norton AntiVirus] の順にポインタを合わせ、[LiveUpdate - Norton AntiVirus] をクリックする。
- 2 表示される画面の指示に従って、「LiveUpdate」を実行する。

「Windows Update」の「重要な更新と Service Pack」のご利用について

下記の手順に従って、「Windows Update」で提供されるプログラムの更新を定期的に行ってください。

「Windows Update」を行うには、あらかじめインターネットに接続している必要があります。

-
- ### 1
- デスクトップ画面左下の  をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Windows Update] をクリックする。

「Windows Update へようこそ」画面が表示されます。

-
- ### 2
- [更新をスキャンする] をクリックする。

「利用可能な更新を検索しています」というメッセージが表示され、検索が始まります。

-
- ### 3
- 画面左側の「インストールする更新の選択」メニューの [重要な更新と Service Pack] をクリックし、[更新の確認とインストール] をクリックして「重要な更新と Service Pack」をインストールする。

ご注意

「Windows XP」や「ドライバの更新」の更新はおすすめしません。

ドライバの更新により、本機のプレインストール状態の動作に不具合を生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、以下のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

- 「Windows Update関連情報」
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html>
- 「Windows XPサービスパック関連情報」
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html>

インターネット接続ファイアウォール機能について

本機では、インターネット接続ファイアウォール機能と呼ばれるファイアウォール形式のインターネットセキュリティが提供されています。

本機能を有効にすると、インターネットに接続するコンピュータを保護することが可能となりますが、次のような一部の機能が正常に動作しなくなることがあります。

- Windows の一部の機能
- 本機搭載のアプリケーション

正常に動作させるにはインターネット接続ファイアウォールの設定変更が必要となります。上記の設定変更などの詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

VAIO カスタマーリンク ホームページ

インターネット接続ファイアウォール機能について

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/xptech/info1.html>

本機能を有効にしない場合、インターネットに接続するコンピュータが保護されなくなりますので、次のような対策をとられることをおすすめします。

- ハードウェアファイアウォール(ワイヤレス アクセスポイントやブロードバンド ルータなどの製品の多くに搭載されています)による保護を行う。
- Windows Update の実施により、システムを最新の状態に更新し、セキュリティを強化する。
- 本機にインストールされているコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアを使い、定期的なウイルスチェックを行う。

インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。

セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ セキュリティについて

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html>

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口

電話番号:(0466)30-3016

受付時間: 平日 10:00 ~ 20:00 土・日・祝日 10:00 ~ 17:00

リカバリディスク作成 / リカバリ

この章では、リカバリディスクを作成する方法と本機をリカバリする方法について説明します。

リカバリディスクを作成する	84
リカバリする	88

リカバリディスクを作成する

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。以下のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤って C: ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

🔗 リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。

通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

⚠️ ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらずくにリカバリディスクを作成してください。

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

ディスクの種類	入手方法	使用目的
リカバリディスク	ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。
	ご購入(下記参照)	• ハードディスクのリカバリ領域を作成/削除する。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html>

ご購入にはVAIOカスタマー登録が必要です(32ページ)。

⚠️ ご注意

本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をCD-RやDVD-R、DVD+Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIOリカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておく、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。

万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたなら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ご注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

🗨️ ちょっと一言

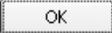
リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなどの管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

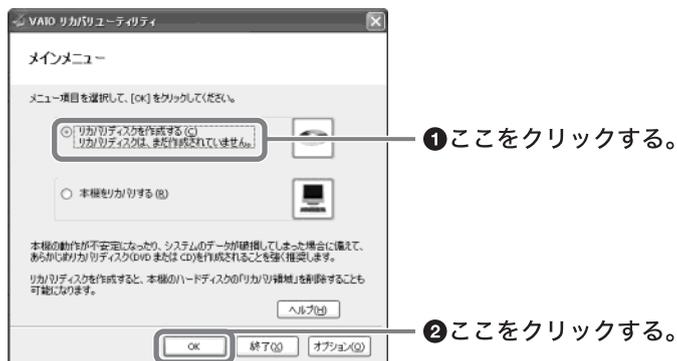
1

デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [すべてのプログラム] [VAIOリカバリツール] の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ] をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2

[リカバリディスクを作成する] の をクリックして にし、 をクリックする。



「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されます。

3

内容をよく読んでから、**次へ(N) >** をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4

使用するディスクを選択する。

DVD-RまたはDVD+Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[1枚のDVD-RまたはDVD+Rを使って作成する]の○をクリックして●にし、**次へ(N) >** をクリックします。

CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のCD-Rを使って作成する]の○をクリックして●にし、**次へ(N) >** をクリックします。



ご注意

CD-RW / DVD+RW / DVD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

リカバリディスク作成に必要なディスクの枚数は、手順4の画面で確認できます。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

5

作成開始 をクリックする。

💡 ちょっと一言

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

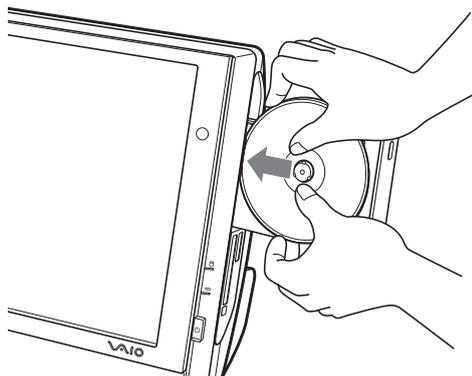
リカバリディスクの作成が始まります。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6

指示されたディスクをDVD±RWドライブに挿入し をクリックする。

- 1 ディスクをトレイにはめ込む。



- 2 ディスクトレイを軽く押して、トレイを閉める。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

💡 ちょっと一言

画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクドライブからディスクトレイが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

7

画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、
 をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。

リカバリディスクの作成がすべて完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」画面が表示されます。

⚠️ ご注意

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

8

をクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

リカバリの種類 / 方法

□ リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

1 リカバリの準備 (バックアップ/BIOS)

データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

90ページ

2 リカバリする

自分の目的に合った方法でリカバリします。

92ページ

～

103ページ

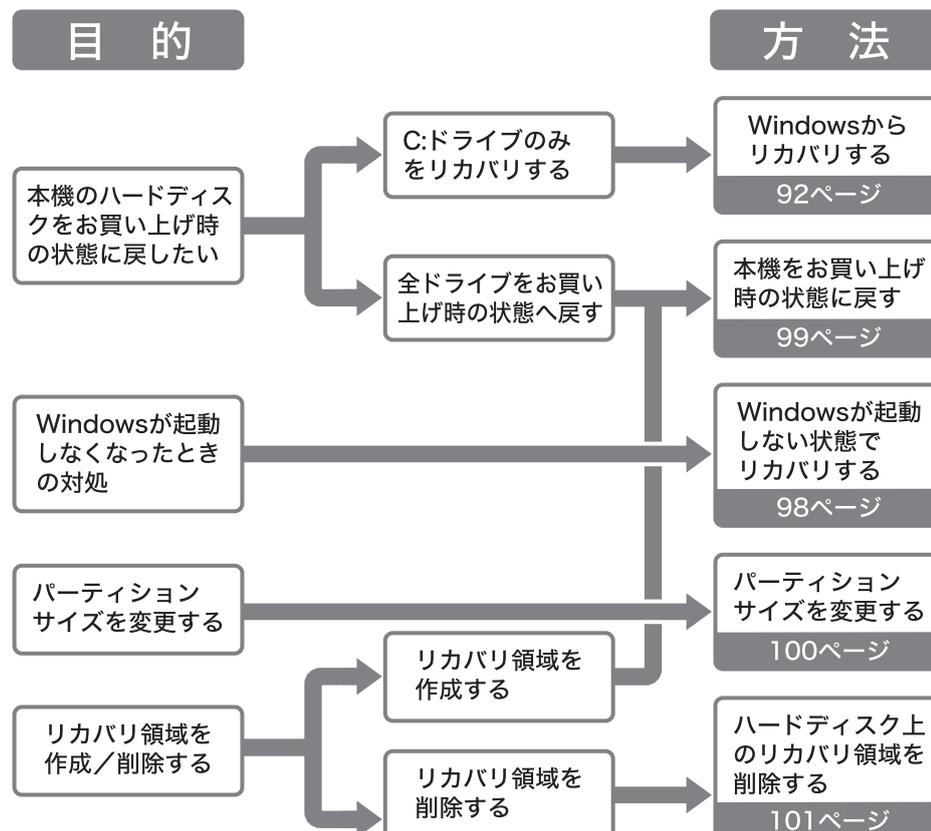
3 バックアップしたデータを戻す

リカバリの前にバックアップしておいたデータを元に戻します。

103ページ

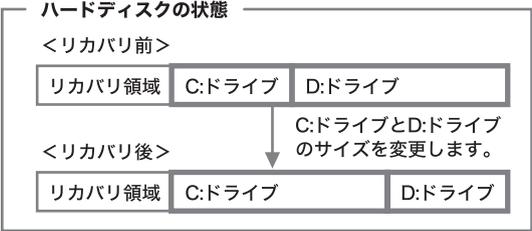
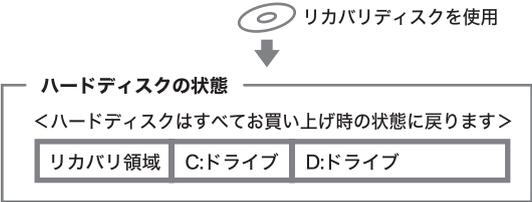
🔍 どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。



□ リカバリの種類

リカバリ方法を以下の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	<ul style="list-style-type: none"> Windows からリカバリする Windows が起動しない状態でリカバリする 	<p>C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。</p>  <p>※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。</p>
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	<p>現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。</p>  <p>※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。</p>
お買い上げ時の状態にリカバリする	本機をお買い上げ時の状態に戻す	<p>現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。</p>  <p>※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。</p>

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	<p>リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量(約5GB)をデータの保存用などに使用できるようにします。</p>  <p>※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。</p>

リカバリの準備(バックアップ / BIOS)

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

□ データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R / CD-RW にコピーする。
- DVD ライタブルメディアにコピーする。
- D: ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C: ドライブとD: ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする (92ページ) の手順5で「C: ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C: ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D: ドライブにあるファイルは残ります。

💡 ちょっと一言

ここでは、DVD+R / DVD+RW / DVD-R / DVD-RWを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

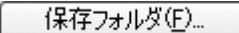
- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Outlook Express] をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、 をクリックして画面を閉じてください。

- 2 [ツール] メニューから [オプション] をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

- 3 [メンテナンス] タブをクリックし、 をクリックします。

「保存場所」画面が表示されます。

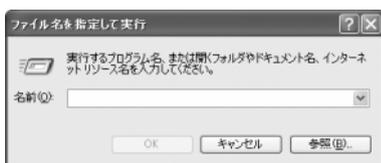


- 4 「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから [すべて選択] をクリックする。

- 5 再度、「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから [コピー] をクリックする。

- 6 デスクトップ画面左下の  をクリックして [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



- ⑦ 「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして「貼り付け」をクリックし、**OK** をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。



- ⑧ 表示されているファイルの中から、拡張子が「*.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

☺ ちょっと一言

- ソニックステージ
- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして「すべてのプログラム」[SonicStage]の順にポインタを合わせ、「SonicStage」をクリックします。
- CD-R / CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** をクリックし、画面左側の「CD / DVD」[作成] [CDにデータを保存する] または「DVDにデータを保存する」の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- ドゥー バイオ
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
- また、録画したビデオ映像のデータは、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)に保存されています。
- ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)をフォーマットしないでください。
- バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html>

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R / CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

□ BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、以下のように操作します。

- ① 本機の **電源** ボタンを押し、画面に「SONY」のロゴが表示されたら、キーボードの **F2** キーを押す。

BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

- ② **F5** (Setup Defaults) キーを押す。

「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

- ③  /  キーを押して [Yes] を選び、 (エンター) キーを押す。

すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

- ④  (Save and Exit) キーを押す。

「 Save configuration changes and exit now? 」というメッセージが表示されます。

- ⑤  /  キーを押して [Yes] を選び、 (エンター) キーを押す。

変更された設定が保存され、BIOS セットアップメニューが終了し、Windows が起動します。

□ リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- 別売りの USB フロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、取りはずしてください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
リカバリを行った場合は、OS のライセンス認証は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office Personal* のライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります。

* PCV-V151B を含む Office Personal プレインストールモデルをお使いの方

- BIOS のパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。絶対に BIOS のパスワードを忘れないでください。

Windows からリカバリする

Windows からリカバリするには、以下の手順で操作します。Windows が起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windows が起動しない状態でリカバリする (98 ページ)」をご覧ください。

ご注意

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOS の設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

1

デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [すべてのプログラム] [VAIO リカバリツール] の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ] をクリックする。



ここをクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

💡 ちょっと一言

「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す (99 ページ)」をご覧ください。

2

[本機をリカバリする] の○をクリックして●にし、**OK** をクリックする。



「リカバリウィザード」画面が表示されます。

3

内容をよく読み、**次へ(N) >** をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

4

内容をよく読み、**次へ(N) >** をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5

[C: ドライブをリカバリする] の○が●になっていることを確認して、**次へ(N) >** をクリックする。



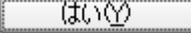
「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

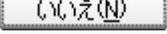
6

画面の内容を確認し、**リカバリ開始** をクリックする。

「リカバリを開始してもよろしいですか？」画面が表示されます。

7

 をクリックする。

リカバリを中止するときは、 をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で  をクリックします。

本機が再起動して、しばらくすると「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

 ちょっと一言

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。

8

 をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9

 をクリックする。

本機が再起動します。

ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「キーボードの動作を確認します」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、 (ポインタ)だけがしばらく表示されていますが、「キーボードの動作を確認します」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10

「Windowsを準備する (28ページ)の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「アプリケーションリカバリ」を行います。」画面が表示されます。

ご注意

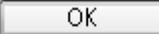
Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。

この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

 ちょっと一言

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] [続行] [完了]の順にクリックしてください。

11

 をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、アプリケーションのインストールを開始します。

12 Office Personal 2003がプレインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、をクリックして本機を再起動する。

また、ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、再起動後引き続き手順18以降の操作を行ってください。

PCV-V151Bを含むOffice Personal 2003プレインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 「Office Personal 2003のインストールを行います」画面が表示されたら、付属の「Office Personal 2003プレインストールパッケージ」でMicrosoft® Office Personal Edition 2003(以降「Office Personal 2003」)をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- ① Office Personal 2003 CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ② 「インストールの種類」画面が表示されたら、[完全インストール]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。
- ③ 「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。
- ④ 「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

[Webサイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスを

にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

- ① Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、[ヘルプ]メニューの[更新のチェック]をクリックする。
- ② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。
- ③ 必要なOffice Personal 2003のアップデートを行う。

14 Office Personal 2003プレインストールパッケージで、Microsoft® Office Home Style⁺をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- ① Microsoft® Office Home Style⁺ CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ② 「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
- ③ 「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。
- ④ 「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。
- ⑤ 「Microsoft® Office Home Style⁺のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
- ⑥ 「Microsoft .NET Framework1.1 パッケージをインストールしますか？」画面が表示されたら、[いいえ]をクリックする。

Microsoft® Office Home Style⁺のインストールが完了しました。

15 「Office Personal 2003のインストールを行います」画面の をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

16 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、 をクリックして本機を再起動する。

これでリカバリが完了しました。

17 Office Personal 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号:(0120)801-734 受付時間:24時間受付

ご注意

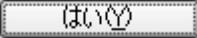
インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。

インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(73ページ)をご覧ください。

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、インストールを行う必要があります。次の手順でインストールしてください。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログインする必要があります。

18 デスクトップ画面左下の  をクリックして、[すべてのプログラム] [Norton AntiVirus 2004 インストーラ] の順にクリックする。
「ウイルススキャンしますか？」画面が表示されます。

19  をクリックする。
ウイルススキャンが開始されます。

20 ウイルススキャンが終了した後、表示されるテキスト画面の  をクリックする。

21 表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

ご注意

- 「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。
- MSN インスタントメッセンジャースキャナは初期状態では機能しません。

22 インストール完了の画面が表示されたら、 をクリックする。
「Norton AntiVirus 情報ウィザード」が起動します。
画面に従って、設定を行います。

これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるようになりました。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。

1

⏻ (電源) ボタンを押して本機の電源を入れ、「SONY」ロゴが表示されたあと、 (F10) キーを押す(起動には数分かかる場合があります)。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

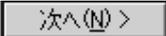
💡 ちょっと一言

リカバリディスクでもリカバリウィザードを起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ディスクドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(99ページ)をご覧ください。

2

内容をよく読み、 をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3

「Windowsからリカバリする」(92ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合も、この手順を行ってください。

ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C: ドライブ、D: ドライブともに失われてしまいます。

1

本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をディスクドライブに入れる。

電源の入れかたについては、「電源を入れる」(27ページ)をご覧ください。

2

本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切る」(39ページ)をご覧ください。

3

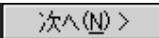
30秒ほど待つてから、 (電源) ボタンを押して本機の電源を入れる。

「SONY」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。

4

内容をよく読み、 をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5

内容をよく読み、 をクリックする。

「リカバリメニュー」画面が表示されます。

6

「お買い上げ時の状態にリカバリする」の○をクリックして●にし、 をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7

「Windowsからリカバリする」(92ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ド

ライブは、「ソニックステージ SonicStage」ソフトウェアや「ディーブイゲート プラス DVgate Plus」ソフトウェア、ドゥー バイオ Do VAIOなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。

より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます(101ページ)。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起り、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

☺ 断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

☺ デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

☺ ちょっと一言

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
また、録画したビデオ映像のデータは、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)に保存されています。
ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)をフォーマットしないでください。
バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html>

1

「Windowsからリカバリする (92ページ) の手順1 ~ 4を行う。
「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2

[パーティションサイズを変更してリカバリする] の○をクリックして●にし、**次へ(N) >** をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3

C: ドライブのパーティションサイズを▼をクリックして選び、**次へ(N) >** をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

4

「Windowsからリカバリする (92ページ) の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

ご注意

- 「リカバリディスクを作成する (84ページ) の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C: ドライブ、D: ドライブともに失われてしまいます。

1

本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をディスクドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる (27ページ) をご覧ください。

2

本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切る (39ページ) をご覧ください。

3

30秒ほど待ってから、 (電源) ボタンを押して本機の電源を入れる。
「SONY」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。

4

内容をよく読み、 をクリックする。
「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5

内容をよく読み、 をクリックする。
「リカバリメニュー」画面が表示されます。

6

[パーティションサイズを変更してリカバリする]の○をクリックして●にし、 をクリックする。
「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7

[リカバリ領域を削除する]の○をクリックして●にし、 をクリックする。



①ここをクリックする。

②ここをクリックする。

「リカバリ領域を削除するように設定します。」画面が表示されます。

8

 をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9

 をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする (92ページ) の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして **[すべてのプログラム]** にポインタを合わせ、**[Outlook Express]** をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「(ダイヤルアップ接続名) \接続」画面が表示されたときは、**キャンセル** をクリックして画面を閉じてください。

- 2 **[ファイル]** メニューから **[インポート]** にポインタを合わせ、**[メッセージ]** をクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

- 3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、**[Microsoft Outlook Express 6]** をクリックし、**次へ(N) >** をクリックする。



「場所の指定」画面が表示されます。

- 4 **[Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]** の をクリックして にし、**OK** をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

- 5 **参照(R)...** をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して **OK** をクリックし、**次へ(N) >** をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

- 6 **[すべてのフォルダ]** の をクリックして にし、**次へ(N) >** をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

- 7 **完了** をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

使用上のご注意	106
お手入れ	110
保証書とアフターサービス	111
付属ソフトウェアのお問い合わせ先	112
主な仕様	118

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- CD-R / CD-RW / DVD+R / DVD+RW / DVD-R / DVD-RWにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れてください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。

- ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取る時は、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まるまでお待ちください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせて布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はディスプレイを傷めることがありますので、使わないでください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 以上の変化)のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

🗨️ ちょっと一言

本機は、お買い上げ時の状態で、ハードディスクにリカバリディスクを作成するツールが入っています。

詳しくは、「リカバリディスクを作成する」(84ページ)をご覧ください。

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないこととなります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

マウスについて

- マウスの底面から発せられている赤い光を見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。
- マウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

本機へのアナログ入力についてのご注意

ドゥー バイオ

Do VAIOを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

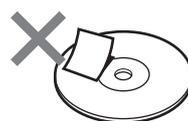
- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機左側面のS VIDEO / VIDEO(S映像 / 映像入力)コネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われていないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき

- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの読み込み、書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。

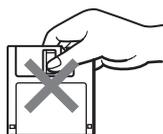


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部にディスクが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

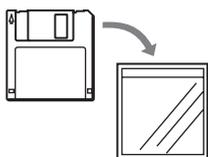
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。



- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれている、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号は「2 (日本)」に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

コンピュータ廃棄時等のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、コンピュータはオフィスや家庭などでいろいろな用途に使われ、ハードディスクにはお客様の重要なデータが記録されています。

コンピュータを廃棄等するときには、これらの重要なデータを消去する必要があります。データを消去する場合、一般には以下のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- リカバリを行い、工場出荷状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(いずれも有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、バイオホームページ内「サポート」ページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/ifu/hotnews/2002/04/001/index.html>)より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご参照ください。

お手入れ

本機 / ディスプレイ / マウスのお手入れ

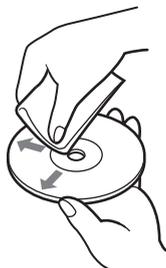
本機やディスプレイおよびマウスについてのゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ぬれたもので本機やディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はディスプレイを傷めることがありますので、使わないでください。
- 液晶ディスプレイについての埃などは、柔らかい布(眼鏡拭き用の布等)で軽く拭き取ってください。指紋などで取れにくい場合は、柔らかい布に中性洗剤の水溶液を浸して軽く拭き取ってください。かたい布で強くこすったり、アルカリ性の強い洗剤等で拭くとディスプレイ表面が傷付くことがありますので充分にご注意ください。
- 液晶ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 液晶ディスプレイの表面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。

CD-ROM / DVD-ROM ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

書き込みのできるCDやDVDディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブローを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

本機を長く使用していると、キーボードの汚れにより、文字表示が見えにくくなってしまう場合がありますので、定期的にお手入れすることをおすすめいたします。

お手入れ方法

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- やわらかい布または綿棒にて中性洗剤(1% ~ 2%の濃度に薄めたもの)を軽く含ませて拭き取ってください。

ご注意

- お手入れするときは、必ず乾電池を抜いてください。
- 液体を直接キーボードにかけないでください。キーボードの内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので絶対にご使用にならないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。
- 水や液体をキーボードにこぼさないようにご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間となります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について
当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。
詳しくは別冊の「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客さまのカスタマーID:
- 型名:IDラベル(18ページ)または保証書に記載されています。
- 製造番号:
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 購入年月日:

修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。

また原則として交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] [バイオ電子マニュアル] の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2

画面上部の **ソフト活用ナビ** をクリックし、画面左側の [付属ソフトご紹介 / お問い合わせ先] をクリックする。

3

表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。

ご注意

- Windows XPでは、使用者がOS上で作業を行うために機能を使用するための権限とアクセス許可を必要とします。本機に付属するソフトウェアの中でも、同様に使用するための権限とアクセス許可が必要なものがあります。

インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに対し、必要な権限とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとして再度ログオンするか、お使いのユーザーに「コンピュータの管理者」アカウントの権限を与える設定にして作業をやり直してください。「コンピュータの管理者」アカウントの使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

権限とアクセス許可については詳しくは、デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [コントロールパネル] [ユーザーアカウント] の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

VAIOする

- Do VAIO
(テレビ録画 / 管理 / 再生 統合ソフト)
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

- DVgate Plus
(デジタルビデオ動画 / 静止画入出力 / 簡易編集)
VAIOカスタマーリンク
- Windows Media(TM) Player
(AV再生・ストリーンプレーヤー)
VAIOカスタマーリンク
- WinDVD for VAIO
(ドルビーバーチャルスピーカー / ドルビーヘッドホン対応)
(DVDビデオ再生)
VAIOカスタマーリンク

DVD作成

- Click to DVD
(DVD作成ソフト)
VAIOカスタマーリンク

音楽

- SonicStage
(OpenMG対応音楽ファイル管理 / 再生ソフト)
VAIOカスタマーリンク
- SonicStage Mastering Studio
(音楽録音・編集ソフト)
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

- PictureGear Studio
(静止画管理 / 加工 / プリント統合ソフト)
VAIOカスタマーリンク

- Adobe(R) Photoshop(R) Elements(PCV-V151S)
(静止画作成・加工(フォトレタッチ))
アドビシステムズテクニカルサポート
電話番号:0570-023623(ナビダイヤル)
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。
有料サポートのお申し込み手続きについては、アドビシステムズサポート契約センターへ(電話:(03)6350-8688)
ホームページ:
<http://www.adobe.co.jp/support/main.html>

ご注意

「シリアル番号」の保管について
アドビシステムズ株式会社のアップグレードチラシ(付属)には、ユーザ登録、ならびに特別優待価格でフルバージョンへアップグレードする際に必要となる「シリアル番号」が印刷されています。
アップグレードチラシを保管するか、チラシをコピーするなどして、「シリアル番号」を大切に保管してください。

ホームネットワーク

- VAIO Media
(音楽・静止画・ビデオ統合プレーヤー)
VAIOカスタマーリンク
- VAIO Media Integrated Server
(VAIO Media統合サーバー)
VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

- Network Smart Capture
(ビジュアルコミュニケーション)
VAIOカスタマーリンク
- みんなでTV電話
NTTコミュニケーションズ(株)
ドットフォン パーソナル インフォメーションセンター
電話番号:(0120)050-506
受付時間:月曜～金曜:9時～17時(指定休業日、祝日を除く)
ホームページ:<http://www.ntt.com/pcsp/>

インターネット・メール

□ Microsoft(R) Outlook Express (電子メール)

VAIOカスタマーリンク

□ Microsoft(R) Internet Explorer (インターネットブラウザ)

VAIOカスタマーリンク

□ Google ツールバー(TM) 日本語 版(ブラウザツールバー)

Google Inc.

電子メール: toolbar-support-ja@google.com

□ i-フィルター Personal Edition (インターネットフィルタリング)

デジタルアーツ株式会社 ユーザーサポート
電話番号:(03) 5485-1334

受付時間:月曜~金曜:10時~18時(年末年始、
祝日を除く)

ファックス番号:(03) 5485-1337

電子メール(技術サポートメール):
support@daj.co.jp

ホームページ:<http://www.daj.co.jp/>

ISPサインアップ

□ インターネット カウンセラー

インターネット カウンセラーサポートセン
ター

電話番号:(03) 5565-4500

受付時間:月曜~金曜:10時~18時(年末年
始、祝日を除く)

プロバイダーサービス内容やお申し込み
につきましては、各プロバイダーへお問い合わ
せください(下記参照)。

AOLサインアップツール

(サービスプロバイダ)

AOLメンバーサポートセンター

電話番号:(0120) 275-265

受付時間:毎日9時~21時

ファックス番号:(0120) 379-930

電子メール:aoljapanms@aol.com

ホームページ:<http://www.jp.aol.com/>

@niftyでインターネット

(サービスプロバイダ)

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口

電話番号:(0120) 316-042(フリーダイヤル)

携帯・PHS・海外からは03 5753-2374

(電話料金はお客様ご負担となります。)

受付時間:毎日9時~21時

(ビルの電源工事などによりお休みさせてい
ただく場合があります。)

電子メール:feedback@nifty.com

ホームページ:

<http://www.nifty.com/support/index.htm>

BIGLOBEサインアップナビ

(サービスプロバイダ)

BIGLOBEカスタマーサポート インフォ

メーションデスク

電話番号(通話料無料):(0120) 36-0962

電話番号(携帯電話、PHS、CATV電話の場
合):(03) 3947-0962

受付時間:9時~22時 365日受付

ファックス番号:(03) 3798-4198

ホームページ:<http://support.biglobe.ne.jp/>

DIONサインアップソフト

(サービスプロバイダ)

KDDIカスタマーサービスセンター

電話番号:(0077) 7192(無料)

受付時間:9時~21時(土・日・祝日も受付中)

電子メール:メールでのお問い合わせはホー
ムページから。

<http://cs119.kddi.com/dion/>

ホームページ:<http://www.dion.ne.jp/>

OCNスタートパック

(サービスプロバイダ)

OCNスタートパックヘルプデスク

電話番号:(0120) 047-747

受付時間:月曜~金曜:9時~21時、

土曜・日曜・祝日:9時~17時

(年末・年始は休業とさせていただきます)

電子メール:info@ocn.ad.jp

ホームページ:<http://www.ocn.ne.jp/>

ODNサインアップソフトウェア

(サービスプロバイダ)

ODNサポートセンター

電話番号(ダイヤルアップコースに関するお
問い合わせ):0088-86(無料)

電話番号(ADSL/光コースに関するお問い合
わせ):0088-222-375(無料)

受付時間:9時~18時(無料/年中無休)

電子メール:

odn-support@odn.ad.jp

(ダイヤルアップコース)

info-adsl@odn.ad.jp

(ADSL/光コース)

ホームページ:

<http://www.odn.ne.jp/> (ODNホームページ)

ぶらら入会 / 接続ソフト(P'z Dialer)

(サービスプロバイダ)

株式会社ぶららネットワークス「ぶららダイヤル」

電話番号(入会に関するお問い合わせ):
009192-39(通話料無料)

受付時間:10時~22時(12/29~1/3および
5/3~5/5を除く)

電話番号(設定などに関するお問い合わせ):
009192-33(通話料無料)

受付時間:月曜~金曜:12時~21時、土曜日曜
祝日:12時~19時(12/29~1/3および5/3~
5/5を除く)

電話番号(携帯電話・PHS・公衆電話・海外など
からご利用の場合):(03)5954-5330

(受付時間:月曜~金曜12時~21時、土曜日曜
祝日12時~19時、12/29~1/3および5/3~5/
5を除く)

通話料金は、お客様負担となりますのでご注
意ください。

電子メール:kojin@plala.or.jp

ホームページ:http://www.plala.or.jp/access/

So-net簡単スターターV2

(サービスプロバイダ)

So-netインフォメーションデスク

電話番号:0570-00-1414

電話番号(携帯・PHSからおかけになる場合):
札幌(011)711-3765 / 仙台(022)256-2221 /
東京(03)3446-7555 / 名古屋(052)819-1300
/ 大阪(06)577-4000 / 広島(082)286-1286
/ 福岡(092)624-3910

受付時間:9時~21時 年中無休

ファックス番号:(03)3446-7557

電子メール:info@so-net.ne.jp

ホームページ:

http://www.so-net.ne.jp/support/

Yahoo! BB

(サービスプロバイダ)

Yahoo! BBカスタマーサポートセンター

電話番号:(0120)919-820

受付時間:24時間*年中無休(施設点検日およ
びメンテナンス日は休業)

*23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故
障やネットワーク障害についてのお問い合わせ
のみ受け付けております。

お電話の際は番号をお間違いのないようお
願い申し上げます。

携帯・PHSからのお問い合わせ:

(03)6688-5001[東京]

電子メール:help@ybb-support.jp

携帯電話からのメールは文字数制限等によ
りご返答できません。必ずパソコンからの
メールをご利用ください。

ホームページ:http://bb.yahoo.co.jp/

ホットスポット

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号:(0120)815244

受付時間:月曜~金曜 10時~18時(年末
年始、祝日を除く)

電子メール:hotspot@ntt.com

ホームページ:http://www.hotspot.ne.jp/

ワープロ・表計算

□ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003(PCV-V151Bを含む 「Microsoft Office」ソフトウェア 搭載モデル)

(ワープロ・表計算・個人情報管
理)

マイクロソフト スタンドサポート

電話番号:東京(03)5354-4500 / 大阪(06)
6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ:4インシデ
ント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償
になります。

本件について詳しくは、付属の「Microsoft
Office Personal Edition 2003 プレインスト
ールパッケージ」をご確認いただくか、マイク
ロソフト スタンドサポートまでお問い合わせ
ください。

受付時間:月曜~金曜:9時30分~12時、13時
~19時、土曜:10時~17時(マイクロソフト
社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに
関するお問い合わせ:マイクロソフト スタン
ダードサポートにてサポートいたします。期
間、回数の指定はありません。こちらのお問
い合わせに限り、日曜日でもサポートいたし
ます。受付時間:月曜~金曜:9時30分~12時、13時
~19時、土・日曜:10時~17時(マイクロソ
フト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、
電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意
ください。
プロダクトIDの確認方法については、付属
の「Microsoft Office Personal Edition 2003
プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、
付属の「Microsoft Office Personal Edition
2003 プレインストールパッケージ」をご確
認ください。
- Microsoft Office Personal Edition 2003 関
連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリン
クではお受けしておりません。

初めて使うときは:

いずれかのソフトウェアを起動すると使用許
諾画面が表示されますので、画面の指示に
従って操作してください。

起動するときは:

目的にあわせて  スタート [すべてのプ
ログラム] [Microsoft Office] から各ソフト
をクリックして起動します。

☺ Microsoft Office Home Style+ について

 スタート [すべてのプログラム]
[Microsoft Office Home Style+ ガイド] をクリックして表示される情報もご覧ください。

実用ツール

- Drag'n Drop(R) CD+DVD
(DVD+R/RW・DVD-R/RW・CD-R/RWライティングソフトウェア)
イージーシステムズジャパン株式会社
ホームページ:
<http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/index.html>
製品FAQページ:
<http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/faq.html>
オンラインサポート*:
<http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/tosupport.html>
*Drag'n Drop CD+DVDは180日間のオンラインサポートのみとなります。
- 駅すばあと(電車交通案内)
ユーザーサポートセンター
電話番号(テクニカル):(03)5373-3522
電話番号(バージョンアップ):
(03)5373-3521
受付時間:月曜~金曜:10時~12時、13時~17時(祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
ファックス番号:(03)5373-3523
電子メール:support@val.co.jp
ホームページ:<http://ekiworld.net/>
- デジタル全国地図
(インターネット地図ソフト)
株式会社ゼンリンデータコム お客様相談室
電話番号:(0120)210-616
受付時間:月曜~金曜:10時~17時
(祝日・株式会社ゼンリンデータコム指定休日は除く)
電子メール:
itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ:<http://www.its-mo.net/>
- HD革命/BackUp Lite
(バックアップソフト)
株式会社 アーク情報システム サポート係
電話番号:(03)3234-9251
受付時間:月曜~金曜:10時~12時と13時~17時まで(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(03)3234-9252
電子メール:kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ:<http://www1.ark-info-sys.co.jp/>

ご注意

バックアップ・復元を確実にを行うために、必ず「HD革命/BackUP Lite」のヘルプをお読みください。

- Adobe(R) Reader(R)
(PDFビューワー)
VAIOカスタマーリンク
- Norton AntiVirus 2004
(ウイルスチェッカー)
シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター
ホームページ:
<http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>

ご注意

本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

テクニカルサポートセンターのご連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

インストールするときは

ご注意

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。
なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、 スタート [すべてのプログラム] [Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックします。
以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

設定・ユーティリティ

- VAIOランチャー
(バイオ専用ソフトウェアランチャー)
VAIOカスタマーリンク
- VAIO Action Setup
(アプリケーション等起動設定)
VAIOカスタマーリンク

- メモリースティックフォーマッタ
(メモリースティックフォーマットツール)
ソニー株式会社 テクニカルインフォメーションセンター
電話番号:(0564)62-4979
受付時間:月~金 9時~17時(ただし年末、年始、祝日を除く)
ホームページ:
<http://www.sony.net/memorystick/support/>

- VAIOシステム情報
(各種ユーティリティ)
VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

- バイオ電子マニュアル
(バイオマニュアル)
VAIOカスタマーリンク
- できるWindows XP for VAIO
(Windows入門書(HTML))
インプレスカスタマーセンター
電話番号:(03)5213-9295
- How to VAIO
(バイオの基礎を学習)
VAIOカスタマーリンク
- VAIOリカバリユーティリティ
(リカバリツール)
VAIOカスタマーリンク
- VAIO Update
(自動アップデート)
VAIOカスタマーリンク

その他

- Java(TM)Software
サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ:<http://www.java.com/ja/>
- VAIOオンラインカスタマー登録
(オンラインカスタマー登録)
ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号:(0466)38-1410
受付時間:月曜~金曜日 10時~18時
(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

- オンラインコンテンツガイド
(ご紹介画面)
ソニー株式会社「オンラインコンテンツガイド」お問い合わせ窓口
受付時間:月曜~金曜日:9時~17時30分
(年末年始、祝日を除く)
電子メール:info@grami.ne.jp

主な仕様

PCV-V151Sシリーズをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。

本機に同梱されている、お客様が選択された仕様を記載したチラシもあわせてご覧ください。

モデル	PCV-V151シリーズ	
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition	
プロセッサ	インテル® Celeron® プロセッサ 2.50GHz	
キャッシュメモリ	1次キャッシュ12K μ 命令実行トレースキャッシュ ¹¹ / 8KB・データキャッシュ / 2次キャッシュ128KB(CPU内蔵)	
システムバス	400MHz	
チップセット	SiS 651チップセット	
メインメモリ(標準/最大)	256MB / 1GB ² (DDR SDRAM DDR333対応)	
拡張メモリスロット(空きスロット数)	DIMMスロット(DDR SDRAM, 184ピン)×2(1)	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	SiS 651チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	32MB(メインメモリ共有)
	液晶表示装置	15型(1024×768 TFTカラー液晶 最大傾斜角度25度 垂直からの可動範囲)
	表示モード (専用ディスプレイ/本体)	約1619万色 ³ 1024×768 ⁴ 、800×600 ⁴
記憶装置	ハードディスクドライブ	約160GB(Ultra ATA/100, 7200回転 / 分) Cドライブ約30GB / Dドライブ約125GB ^{5, 6}
	MPEG映像録画時間 ⁷	高画質 約33.5時間 / 標準 約64.5時間 / 長時間 約103時間
	DV映像録画時間 ⁷	約9時間
	CD / DVDドライブ ^{8, 9}	DVD±RWドライブ(DVD+R / +RW・DVD-R / -RW) <ul style="list-style-type: none"> 書き込み: 最大2.4倍速(DVD+R)¹⁰、最大2倍速(DVD+RW)¹⁰、最大4倍速(DVD-R)¹¹、最大2倍速(DVD-R)¹²、最大16倍速(CD-R)、最大8倍速(CD-RW)¹³ 読み出し: 最大4倍速(DVD+R+DVD-R)、最大2倍速(DVD+RW)、最大2倍速(DVD-RW)、最大8倍速(DVD-ROM)、最大10倍速(CD-RW)、最大24倍速(CD-R/ROM) (パワァアンダーラン防止機能搭載)
	フロッピーディスクドライブ	別売り PCVA-UFD(USB経由外付け、3.5型)
外部接続端子	背面/側面	<ul style="list-style-type: none"> USB 2.0×4(High-speed/Full-speed/Low-speed対応) オーディオ入力(ライン入力:ステレオ、ミニジャック×1、マイク入力:モノラル、ミニジャック×1) ヘッドホン出力(ステレオ、ミニジャック×1) ネットワーク(LAN)コネクタ(100BASE-TX / 10BASE-T×1) モデム用モジュラージャック(LINE×1) i.LINK S400(4ピン)×1
	MPEG2ハードウェアリアルタイムエンコーダーボード用(側面)	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ入力(ビデオ×1、Sビデオ×1) オーディオ入力(ステレオ、ピンジャック×1) TVアンテナ入力(75、F型コネクタ×1)
本体前面インターフェイス	リモコン受光部内蔵	
メモリーカードスロット	メモリースティック(メモリースティックPRO対応)×1 ¹⁴	
PCカードスロット	TypeII ×1, CardBus対応	
拡張スロット(空きスロット数)		
拡張ベイ(空きベイ数)		
MPEG2ハードウェアエンコーダーボード	<ul style="list-style-type: none"> ビデオキャプチャー機能(ビデオ入力 リアルタイム変換機能) TVチューナー(VHF1~12ch, UHF13~62ch, CATV C13~C63ch¹⁵、ステレオ2か国語¹⁶) 録画モード(選択可能): 高画質モード(MPEG2 8Mbps 720×480 30fps) 約17分 / 1GB 標準モード(MPEG2 4Mbps 720×480 30fps) 約34分 / 1GB 長時間モード(MPEG2 2.5Mbps 352×480 30fps) 約63分 / 1GB 3次元Y / C分離回路 ゴーストリダクション機能 	
オーディオ機能	AC97準拠オーディオ、3Dオーディオ(Direct Sound 3D)対応	
スピーカー/アンプ	3W + 3W(JEITA)	
内蔵モデム ¹⁷	最大56kbps(V.90) ¹⁸ / 最大33.6kbps(V.34) / 最大14.4kbps(FAX時)	
主な付属品	「付属品を確かめる」(22ページ)をご覧ください。	
電源	AC100V ± 10% / 50-60Hz	
消費電力	約71W(最大約247W) / スタンバイ時 約2.0W	
定格消費電流	2.4A	
温湿度条件	動作温度: 10 ~ 35 (温度勾配 10 / 時)以下、動作湿度: 40% ~ 80%(結露のないこと) 保存温度: -20 ~ 60 (温度勾配 10 / 時)以下、保存湿度: 結露のないこと	
外形寸法	本体直立時: 約幅380mm × 高さ342mm × 奥行き200mm 本体最大傾斜時: 約幅380mm × 高さ327mm × 奥行き200mm	
質量	約7.8kg(本体) 約0.7kg(キーボード) ¹⁹	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
高調波電流規制について: この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

¹ 最大12,000のデコード済みマイクコマンドをキャッシュすることにより、コマンドデコードに要する時間を不要にします。

² 標準装備されている256MBメモリーモジュールを取り外し、512MBメモリーモジュール(PCVA-MM512E)を2枚増設した場合です。

³ 約1619万色はグラフィックアクセラレーターのディザリング機能により実現。

⁴ 全画面表示はできません。

⁵ 本機は、ハードディスクドライブ内にリカバリ(お買い上げ時の状態に戻す)に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約5GBを消費します。

⁶ 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しています。Windows起動時に認識できる容量は、PCV-V151シリーズでは約143GB(Cドライブ約27GB / Dドライブ約116GB)となります。ファイルシステムはNTFSです。

⁷ 記録可能な映像の時間は、映像の内容によって多少前後することがあります。

⁸ 使用するディスクによっては、一部の書き込み/読み出し速度に対応していない場合があります。

⁹ 本機のドライブは8cmディスクには対応していません。

¹⁰ 最大速度での書き込みはその速度での書き込みに対応したDVD+R/+RWディスクでのみ可能です。

¹¹ DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
また最大4倍速の書き込みは「DVD-R for General Version 2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0対応ディスク」でのみ、最大8倍速での書き込みは「DVD-R for General Version 2.0/8X-SPEED DVD-R Revision 1.0対応ディスク」でのみ可能です。

¹² DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
また最大2倍速の書き込みは「DVD-RW Version 1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0対応ディスク」でのみ、最大4倍速での書き込みは「DVD-RW Version 1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0対応ディスク」でのみ可能です。

¹³ CD-RW8倍速以上の書き込みは、CD-RW High Speed対応ディスクをお使い下さい。

¹⁴ マジックゲート機能には対応していません。

¹⁵ CATVの受信サービス(放送)の行われている地域でのみ受信可能です。CATVを受信するときには、使用する機器ごとにCATV会社の受信契約が必要です。さらに、スクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。詳しくは、その地域のCATV会社にお問い合わせ下さい。

¹⁶ BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。

¹⁷ 一般電話回線のみに対応しています。交換機 PBXやホームテレホンなどを経由する回線には対応していません。

¹⁸ 56kbpsはデータ受信時の理想値です。データ送信時は規格上33.6kbpsが最大速度になります。

¹⁹ キーボードの重量は電池含まず。

重要なお知らせ

この章では、本機をお使いになる際の重要な情報について説明していますので、必ずお読みください。

本機をお使いになるときの重要なお知らせ

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここ以外にも本機で閲覧できる重要なお知らせがあります。下記の手順に従い、このページからのお知らせとあわせてご覧ください。

デスクトップ画面左下の  をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[重要なお知らせ] をクリックし、「重要なお知らせ」を表示します。

本機にメモリを増設するときのご注意

メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。

電氣的な専門知識が必要な作業ですので、販売店やVAIOカスタマーリンクに取り付けを依頼されることをおすすめします。

ご自分でメモリ増設をする場合は、本機に付属の「メモリを増設するには」または、「バイオ電子マニュアル」画面上部の  をクリックし、[設置 / 接続 / 拡張] [メモリ] の順にクリックして表示される情報を必ずご覧ください。

ご自分でメモリの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

索引

【ア行】

アナログ入力	107
アンテナコネクタ	19, 46
アンテナに接続する	46
イジェクトボタン	19
一般電話回線	24, 74
インターネット	74
セキュリティについて	79
接続するまでの流れ	77
トラブル	76
インターネットサービス	
プロバイダ	74
ウイルス	76, 79
ウェブブラウザ	75
映像入力コネクタ	19
音楽を聞く	70
音楽CDを再生する	70
保存した音楽コンテンツの再生	71
リモコンを使う	70, 71
音声入力コネクタ	19

【カ行】

各部のなまえ	18
カスタマー登録	32
キーボード	42
お手入れ	110
乾電池残量の確認	42
乾電池の交換	43
使えないときは	44
便利な使いかた	43
休止状態	40
ケーブルモデム	26
結露	106
コネクタボタン	19
コンピュータウイルス	76, 79

【サ行】

最適化	100
省電力機能	40
スタンバイモード	40
スピーカー	18
接続	
アンテナ	46
電話回線	24
ADSL	25
CATVインターネット回線	26
ISDN回線	26
ソフトウェアの不正コピー禁止	108

【タ行】

ターミナルアダプタ	26
断片化	100
チャンネル設定の変更	48
ディスクドライブ	19
イジェクトボタン	19
ディスプレイ	
お手入れ	110
取り扱いについて	106
デフラグ	100
テレビを見る	52
リモコンを使う	52
録画したテレビ番組のDVDビデオを作成する	63
録画したテレビ番組を見る	61
録画する	54
録画予約する	56
電源	
電源コード留め	18
電源ボタン	18
電源ランプ	18
電源を入れる	27
電源を切る	39
電子メール	
電子メールソフトウェア	75
トラブル	76
電話回線	24, 74
電話回線ジャック	19
トーン式ダイヤル	34

【ナ行】

ネットワーク / LANコネクタ	19
------------------	----

【ハ行】

パーティション	100
ハードディスク	
取り扱いについて	106
バックアップをとる	107
ハードディスク / ディスクドライブ	
アクセスランプ	18
パルス式ダイヤル	34
付属ソフトウェア	112
付属品	22
フロッピーディスク	
取り扱いについて	108
プロバイダ	74
ヘッドホンコネクタ	19

【マ行】

マイクロホンコネクタ	19
マウス	42
お手入れ	110
乾電池残量の確認	42
乾電池の交換	43
使えないときは	44
取り扱いについて	107
メモリースティック	
アクセスランプ	18
メモリースティックスロット	19

【ラ行】

ライン入力コネクタ	19
リカバリ	84, 88
リカバリディスク	84
作成	84
リカバリ領域	84
削除	101
リモコン	20
音楽を聞く	70, 71
テレビを見る	52
リモコン受光部	18
DVDビデオを見る	68
録画したテレビ番組のDVDビデオを作成する	63
録画したテレビ番組を見る	61
録画する	54
録画予約する	56

【A】

AC電源入力プラグ	18
ADSL	25, 74

【C】

CATVインターネット	26
CD-ROM	
お手入れ	110
取り扱いについて	107
CD-R / CD-RW	
お手入れ	110
取り扱いについて	107
CONNECTボタン	19, 43, 44

【D】

Do VAIO	46
アンテナの接続	46
基本設定	46
チャンネル設定	48
Norton AntiVirusを お使いのときは	49
DVDビデオを作成する	63
DVDビデオを見る	68
リモコンを使う	68
DVD-ROM	
お手入れ	110
取り扱いについて	107
DVD ± RWドライブ	19, 87
DVD+R / DVD+RW / DVD-R / DVD-RW	
お手入れ	110
取り扱いについて	107

【I】

IDラベル	18
ISDN回線	26, 74
ISDNダイヤルアップルータ	26
i.LINKコネクタ	19

【M】

MEMORY STICKアクセスランプ	18
MEMORY STICKスロット	19
Microsoft Internet Explorer	75

【N】

Norton AntiVirus	79
インストールする	30, 97, 116
Do VAIOで録画するときは	49
LiveUpdate	80

【O】

Outlook Express	75
-----------------------	----

【P】

PC CARDスロット	19
-------------------	----

【S】

S映像入力コネクタ	19
-----------------	----

【U】

USBコネクタ	18, 19
---------------	--------

【V】

VAIOカスタマー登録	32
VHF / UHF アンテナコネクタ	19

【W】

Windows	
準備する	28

本書をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

商標について

-  はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick (メモリスティック)”, “Memory Stick Duo”, **MEMORY STICK PRO** および  は、ソニー株式会社の商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- 「So-net」, 「ソネット」, 「So-netのロゴ」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ  はソニー株式会社の商標です。
- Intel, Pentium, CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft, MS-DOS, Windows Media, WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT, PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby, ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright (c) 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDDB(R) Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
- Gracenote and CDDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a Trademark of Sony Corp.
- Equaliser for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc. Copyright (C) 2003 DigiOn, Inc.
- ASIO Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- VST PlugIn Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright (C) 2003.
- .Phoneおよびドットフォンは、NTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Adobe, Adobeロゴ, Adobe Photoshop, Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- (c)2003 Google Inc. All rights reserved.
- 「iフィルター」はデジタルアーツの商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- NEC, BIGLOBEは、日本電気(株)の登録商標です。
- DIONはKDD(株)の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぶらら」は株式会社ぶららネットワークスの登録商標です。
- Yahoo! BBはヤフー株式会社およびソフトバンクBB株式会社が提供するADSL接続サービスです。BBフォンはソフトバンクBB株式会社が提供するIP電話です。
- Powered by CyberSupport.
- 「ConceptBase」/「ConceptBase Search」/「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Grami All rights Reserved. Copyright Sony Corporation.
Contains IP3 Technology licensed from Visionarts, Inc.
A part of software is based on the work of the independent JPEG Group.

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

サポート情報は、VAIOカスタマーリンクホームページへ
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
<http://www.vaio.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
<http://www.sony.co.jp/>

© 2004 Sony Corporation / Printed in Japan

2-048-413-01(1)